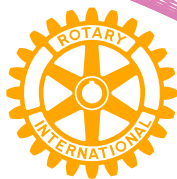


Rotary



〈2024-25 年度 RI 会長テーマ〉



2024-25 年度 RI 会長
ステファニー A. アーチック

国際ロータリー第 2830 地区
2024-25 年度

年次報告書

〈2024-25 年度 地区スローガン〉

個性輝くロータリー

2024-25 年度 ガバナー
花田 勝彦

2024-25年度ガバナー月信は、2830地区ホームページよりダウンロードできます。
<https://www.rid2830.org/download>



Contents

R I 会長メッセージ	1
ガバナーメッセージ	3
地区組織図	5
ガバナー補佐報告	6
委員会活動報告	10
ガバナー公式訪問	21
地区主要行事報告	26
ロータリー財団地区補助金プロジェクト一覧	28
ロータリー財団寄付状況	31
ロータリー米山記念奨学会寄付状況	32
国際平和資金献金状況	33
災害支援金	34
会員数並びに出席率	35
各種表彰	36
青少年交換学生一覧	40
ロータリー米山奨学生一覧	40
グローバル補助金奨学生	40
インターアクトクラブ一覧	41
ローターアクトクラブ一覧	41
クラブ認証順	42
クラブ交流状況	42
米谷恵司ガバナーエレクト国際協議会出席壮行会	43
基調講演	53
インターシティミーティング	44
地区クラブ活性化ワークショップ	47
第28回国際ロータリー日本青少年交換研究会	
青森会議	48
国際大会 カナダ・カルガリー	50
地区決算書	51
監査報告書	53
地区内ロータリークラブ一覧表	54
地区事務所組織表	56



親愛なる友人の皆さま

2024-25 年度

国際ロータリー会長

ステファニー A. アーチック

マクマリー RC
(アメリカ・ペンシルバニア州)

一つのロータリー年度が終わり、次の年度が始まるときは、内省のときでもあります。私は、皆さまのガバナーとしての素晴らしいご貢献に対する感謝の気持ちでいっぱいです。私たちは共にロータリーの未来を形作り、世界中のクラブによる素晴らしい活動を目にしました。皆さまは地区で優れたリーダーシップを発揮してくださいました。

私たちはよく目標や戦略について語りますが、友情と励ましがなければ、それらが根付くことはありません。笑顔や笑いなど、ロータリーに所属する者同士のささやかな仕草を目にするとき、私たちがより大きなものの一部であることを改めて感じます。2024-25年度地区ガバナーのフェイスブックグループでは、世界中の多くの方がそのような帰属意識を感じられたでしょう。クラブでの体験を形作るのは、日常の中でのつながりの精神です。この精神が根付いていれば、クラブはあらがえないほど魅力的になります。

そのためには、内省が必要です。私たちは誰をも温かく迎えているか。私たちは喜びを感じているか。私たちはロータリーの価値観を実践しているか。行動する前に、これらの質問に正直に答えてみてください。ロータリーの行動計画は、このような対話を導き、足並みを揃えるのに役立ちます。それは、ロータリーの本質を変えることなく、本来あるべき姿になることです。

イノベーションは成長のために不可欠です。これはテクノロジーに限らず、私たちがどのようにつながるのかということです。私たちは世界と共に進化しなければなりません。特に若い会員を巻き込みたいのであればなおさらです。先週カルガリーで開催された国際大会は、新しく魅力的な形式を用いて意欲と参加を促す素晴らしい例となりました。伝統と革新は共存できます。リーダーとして好奇心をもち、新しいことに進んで挑戦しましょう。

ロータリーはただの奉仕団体ではありません。「四つのテスト」は、内なる平和がどのように始まるかを示しています。誠実さと優しさを持って人に接することで、地域社会で平和を育むことができます。イスタンブールとプネに新たなロータリー平和センターが設立され、平和の取り組みが世界規模で拡大しています。2月には、イスタンブールで会長主催平和会議が開催され、ロータリー平和フェロー、積極的平和アクティベーター、平和におけるロータリーの

主要なパートナー団体が参加しました。これからも勇気と思いやりを持ってリーダーシップを発揮し、何世代も続く、より平和な世界の基盤を築いていきましょう。

ポリオの根絶まであと少しです。今がラストスパートのときであり、ここで活動を止めるわけにはいきません。5,000万米ドルのファンドレイジング目標を達成すれば、ゲイツ財団からの2倍額の上乗せが最大限になります。力を合わせれば、ロータリーが開始したこの取り組みを完遂できます。

ロータリーで成し遂げられないことはありません。強い絆と共通の目的こそが真のロータリー精神であり、私たちがよいことのために手を取りあうことで達成されることを目にするのが待ちきれません。

今年度にロータリーの取り組みをご支援くださった皆さまに、心より感謝申し上げます。皆さまはロータリーのマジックを示してくださいました。私は今後の人生でそれを大切にしていきたいと思います。

心を込めて



この1年を振り返って

国際ロータリー第2830地区
2024-25 年度 ガバナー

花 田 勝 彦
五所川原 RC

ロータリアンの皆様にとって、この1年はどのような1年だったでしょうか。

地区ガバナーとしての活動は、実質的には、国際協議会に参加した2024年1月からスタートします。地区スローガン「個性輝くロータリー」を決めて、重点事項を定めます。地区の三大研修(DTTS、PETS、DTA)は、次年度の準備のための研修ですので、いずれもガバナーエレクトが招集者となって実施されます。地区幹事会の準備もこの時期がピークを迎えます。ガバナーエレクトの研修(GETS)では、国際協議会がジェットコースターの最上部、ここを過ぎると猛スピードで走り抜けるのがガバナー年度だという趣旨のことを言われておりましたが、全くそのとおりだったと思います。

7月にガバナー年度がはじまり、県知事、マスコミ各社への表敬訪問から、40クラブの公式訪問がスタートすると、地区大会までに全クラブの訪問を終えるのが精一杯でした。会長幹事会のためにそのクラブの定款細則がきちんと備えられているか、クラブの問題点はどこにあるか等、事前の準備をして、訪問後にはクラブの評価をしなければなりません。それゆえ地区内の全クラブの個性を十分に理解することができたと思います。本来であれば、年度内に再訪して、課題の進捗状況を確認し、次年度につなげるところまでできればいいのですが、そこはガバナー補佐にお願いするところです。

10月は最大の行事、地区大会です。RI会長代理として甲府の高野孫左エ門氏を迎え、曹洞宗清野暢邦氏の基調講演を行いました。シンポジウムでは、黒田正宏、関場慶博PGにご登壇いただき、私たち2830地区が目指すべきロータリーについて、貴重なお話を聞くことができました。会長代理歓迎晩餐会、大懇親会も盛り上がり、大いに親睦を深めることができました。参加、準備に携わって下さった皆様に改めて感謝申し上げます。

この後、他地区の地区大会に可能な限り参加して、同期ガバナーの晴れ舞台を応援しに行きました。所変われば地区大会も変わる、皆さんそれぞれのスタイルで楽しませていただきました。

11月にはパキスタン・カラチにポリオワクチン投与活動を行うため、大学生2名を含む地区内12名で参加してまいりました。奉仕活動としては最も印象に残る活動でした。同期ガバナーが集まる会でパワーポイントにより報告させていただいたほか、県知事へ報告の訪問や、ごしょ

がわらFMに出演してお話もしました。ほかにも、ポリオ根絶活動としては、地区大会のウォークラリーと津軽鉄道ポリオジャック、年明けには映画「じょっぱり 看護の人 花田ミキ」の上映会を行い、ポリオの募金活動も併せて実施することができました。

アクトの翼で高校生たちと一緒に台湾・羅東へ行った際には、行く前と帰ってきた後の驚くべき成長を目の当たりにすることができました。インターアクトの年次大会やRYLA、青少年交換事業に参加して、ロータリーの青少年事業の素晴らしさを体験から実感することもできました。

地区内全クラブのロータリアンとの触れあいから、同期ガバナーとの友情、他地区の地区大会への参加によってその地区の皆さんとも交流し、海外へ行けばその国のロータリアンやロータリーファミリーと親睦を深める。ロータリーのフェローシップ、つまり単なる仲良しではなく、ロータリーの理念の下に結びついた世代を超えた友情が、どんどん広がっていくのを実感することができました。

ガバナーとしてのこの1年は、人生の中で最も密度の濃い1年であったように思えます。自分自身が成長し、そのためには何より楽しむことの大切さを学びました。支えてくれた五所川原ロータリークラブと地区幹事会のメンバーには、感謝してもし尽くせない思いです。

地区の活動を支えてくれたガバナー補佐、地区委員長、地区委員の皆さん、クラブの会長幹事の皆さん、本当にありがとうございました。そして、地区事務所の浅利さん、最高のセクレタリーでした。もちろん、ガバナーパートナーとしての妻への感謝も忘れてはならないでしょう。共通の友人が増えて、日常の話題には事欠かなくなったというのも、ガバナーを担当したことの副産物ですね。ロータリー活動で事務所を空けている間、事務所を守ってくれた佐々木弁護士と事務局スタッフのメンバーにも感謝です。

2830地区は喫緊の課題である1100名問題を抱えてはいますが、ロータリー活動の根本は、水野R I 理事の仰るように、参加し、交流し、行動して、ロータリーを楽しむことにあります。国際協議会でロータリーが大好きになった私にとって、これからもロータリーを楽しむことで、人生を豊かにしていくための大きな節目となった1年でした。

改めて今年度のRIテーマである「ロータリーのマジック」を考えてみると、私自身としては、このような得がたい体験をすることができたことが、まさに「ロータリーのマジック」だったと思います。その上で、地区スローガンである「**個性輝くロータリー**」については、輝く個性を持ったロータリアンの皆様と2830地区の各クラブが、この1年、クラブの会長とともに、様々なロータリー活動に積極的に取り組まれたことに心から敬意を表します。私自身は、とにかくこの1年、ロータリーの活動を最優先して、出られるものにはすべて参加しようと決めて実行してきました。私なりの個性輝くロータリー活動はこれからも続きます。

最後に、地区内ロータリアンの皆様に改めて感謝申し上げます。今後とも一緒にロータリーを楽しみましょう！またどこかでお目にかけます。

2024-25 年度 ガバナー補佐報告

東第1グループ



蛭沢 公洋
東北 RC

東北ロータリークラブに加入して9年目である自分にとってこのガバナー補佐という役職は、ロータリアンとして初めての責任が重い役職でした。コロナ禍中に会長、幹事を務めた自分にはロータリアンとしての経験も知識も如何に不足していたかということを改めて認識することになりました。その様な状況の元、むつRCの小田桐会長、むつ中央RCの柴田会長、六ヶ所RCの種市会長、野辺地RCの松山会長、七戸RC事務局の前田さん、前任の東第1グループガバナー補佐である峯さんにガバナー補佐の補佐的な立場に立ってもらい大変お世話になりました。重ねてこの場でお礼申し上げます。

各クラブにはガバナー補佐就任前の年度前、就任後、ガバナー訪問前、次期ガバナー補佐紹介として最低4回は訪問しましたが、訪問するたびに各クラブの先輩方の豊富な経験を聞くことができ素晴らしい時間をすごせました。特に当グループでは海外からの青少年の受け入れに対する募金活動を行っておりますが、これはこれからも継続していくべきです。ガバナー補佐の任を解かれた今後も見守っていきたいと思います。

私に関わってくれた皆様この1年間ありがとうございました。

東第2グループ



佐々木 紀仁
十和田東 RC

2024-25年度、初めてガバナー補佐という大役を担わせて頂きました。今までクラブ内での活動しか知らなかった自分にとって、地区内で担当グループを持ち地区やグループ内各クラブとのやりとり等をする事は戸惑いの連続でした。

その中で花田ガバナーのリーダーシップのもと様々なご指導を頂き、同期となる他グループのガバナー補佐達に相談し助けられ、一つひとつ学びながら何とか1年を務めることができました。

また主催として開催したIM(インターシティ ミーティング)では源新委員長をはじめとする地区DEI推進委員会の委員会メンバーの皆様や、ホストクラブを担った十和田東クラブメンバー皆様のご協力にも大変感謝しております。

昨年度1年で学んだこと・経験したことは非常に得がたいものであり、この貴重な体験をロータリーにおいても日々の生活においてもより良いものとできるように活用し、周りの人たちにも還元していけるように努力していきます。

改めて振り返ってみると、自身の至らなさを痛感することばかり思い浮かび恐縮するばかりですが、それと同時に、温かく見守ってくださる方々・惜しみないご協力をしてくださる方々等周囲には常にそういった方々が居て下さり、非常に恵まれた環境で活動できた事に感謝しかありません。

花田勝彦ガバナーからは本当に様々なことを学ばせて頂きました。2024-25年度に花田ガバナーのもとで活動できたこと、同士であるガバナー補佐の皆様、地区スタッフの皆様、グループ内各クラブのメンバーの皆様、私を支えてくれた家族や社員、こういった方々の中で活動できた1年は私の誇りです。本当にありがとうございました。

西第1グループ



小田 桐 浩

五所川原イヴニング RC

それはある日突然の事でした。

当時の佐々木会長から電話があり、次年度(花田ガバナー年度)のガバナー補佐をやってもらえないかとの事でした。どうして私なのかと問いただした所、ガバナー補佐として推薦する人はチャーターメンバーで会長を経験した人、いなければ会長を経験した人となっているそうで、私は前年度会長をやっていたので候補になった、いや最後をお願いする人だからなんとか頼むとのことでした。佐々木会長の声は消沈しきっており、藁をも掴むように懇願してきました。「ロータリアンは断わらない」のことがありますが、私は不安な気持ちではあったのですが、引き受けることにしました。あるガバナー経験者に「ガバナー補佐は何をすればいいのか」と問うたところ、「IMのあいさつだけを考えてればいい」と言われ、不安な気持ちも少しは薄れ頑張ってみるかと思うようになりました。

西第1グループは当クラブを入れて7クラブあります。ガバナー補佐を始める前にクラブ訪問をしなければいけないので、各クラブを廻りました。一人で他クラブに行くのは初めての事なので、自分としては完全アウェーの所に行かなければならないと思い、重い気持ちで出かけたのですが以外に各クラブともウエルカムで、和やかな雰囲気クラブ訪問を終えることができました。ガバナー補佐の仕事も楽しくできるのかなと思ったのが大きな間違い。その後、あいさつ文の等の原稿、公式訪問、各種リモートでの会議、IM実施へ向けての会議準備、クラブ表彰の検討等やる事が多数あり実に忙しい1年いや、実質1年半のガバナー補佐生活でした。最初ガバナー経験者が言った「IMのあいさつだけを考えてればいい」というのはうそでした。だまされました。

しかしながら、これほどいい経験をしたこともないのではないかと思います。県内のたくさんのロータリアンと知り合いになり視野を広げられ、闊達に話しかけたことはロータリーならではのことであり、まさにロータリーの神髄に触れたと思います。また、花田ガバナー、各グループのガバナー補佐の皆様、本当にお世話になりました。これからも末永くお付き合いの程、よろしくお願いします。

「若いときの苦労は買ってでもせよ」という格言がありますが、これからロータリーを背負っていく皆さん、ロータリー活動に尻込みせず積極的に関わり充実したロータリーライフを楽しんでいただけたらと思います。

1年間ありがとうございました。

西第2グループ



成田 学

弘前アップル RC

2024年7月からガバナー補佐を1年間務めました、実際は2023年11月頃から研修や各行事に招かれガバナー補佐エレクトとして修行が始まり、これから本番を迎えるとどうなるのか？ などと不安になって来ましたが、花田ガバナーを支える使命感に燃えてガバナー補佐本年度を迎えました。ガバナー補佐に就任して最初の任務は、西第2グループ8クラブの各ガバナー訪問例会に出席することでした。各クラブに訪問して改めて例会の進め方や役割、委員会、活動にクラブごとの特徴があり、非常に興味深い思いでした。大人数で厳格に例会を行っているクラブもあれば、少人数ですがまとまりのある例会を行っているクラブや、会員同士がフレンドリーに楽しそうに例会しているクラブありで、とても楽しい時間でした。少し緊張する場面もありましたが… その場で必ず話題になるのが、「2026年で会員数1100名を切ったら隣接する地区と合併しなければならない」という問題です。この問題については地区戦略委員会でも自分も参加して議論していましたが、各クラブ

に1名でも多く入会を推進していただくしかありません。2026年7月に会員1100人以上を必ず達成しましょう。

ロータリークラブに入会して11年になりますが、ガバナー補佐になってから知った事や理解したことがたくさんあってロータリークラブのことが、ますます好きになりました。ガバナー補佐になって知り合った、友人になった同期ガバナー補佐や地区役員や各クラブの会長、幹事、その他会員の皆様、は私の一生の宝物です。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

中グループ



蝦名 正治
青森北東 RC

中グループの4クラブの概況ですが、各クラブとも会長のリーダーシップのもと、概ね安定したクラブ運営が行われていたと思います。各クラブの現況ですが、青森RCは会員100名を超え突出しており、グループ全体のリーダーシップクラブとして頑張って頂きました。また、青森北東RCはここ数年逝去される会員が続き、メンバーの減少傾向が気になりました。青森モーニングRCは次年度のガバナーを輩出していることもあり、多少の会員の増減は見られたものの、次年度に向けて一致団結し会員同志の絆がより一層強くなっていると感じました。グループの中では会員が6名と少ない青森中央RCですが、少ない分メンバー一人ひとりの絆は肌間で分かるほど強固なものとなっています。本年度中グループの各クラブはそれぞれの特色を生かしながら、奉仕活動・会員拡大・財団寄付など地区方針に沿った活動を着実に進めたものと思っております。まさしく花田ガバナーの地区スローガンでもある「個性輝くロータリー」を実践したグループだと感じました。

ガバナー補佐の初仕事としては、ガバナー公式訪問への同行となるわけですが、花田ガバナーは各クラブの定款や細則を読み込んでいたようで、文言の変更や削除してもらいたい条項など指摘されておりました。また、クラブ協議会においてはガバナー補佐が中心になって進めてほしいとのガバナーの要望から、ドキドキしながら進行した記憶だけが残っております。例会運営も各クラブともそれぞれ個性があり、充実した例会につとめようと努力している様子がうかがえました。中グループの課題というよりは地区全体の課題でもあると思うのですが、30代から40代の会員が少なく将来のクラブ運営に不安を感じる1年ともなりました。

私個人的にはガバナー補佐を拝命してから、目標という大げさなことではないのですが、ロータリーを知る良い機会ととらえ、可能な限り会合に出席してみようと努力しました。まずは地区全グループのIMに参加したほか、同期のガバナー補佐が所属するクラブの周年事業やRLIそしてインターアクト年次大会等々、いろいろとロータリーを学ぶとても良い機会とさせていただきました。そして何よりも同期のガバナーの皆様とロータリーを通して友情を深めることが出来たことが一番の収穫となりました。

結びになりますが、何から何までいろいろとご指導いただいた花田ガバナーには心より深く感謝申し上げますとともに、中グループ各クラブの会長・幹事・会員の皆様にはIMの出席協力をはじめ、ご協力を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。中グループガバナー補佐の年次報告と致します。

南グループ



島浦 理

八戸西 RC

2023年の9月に南グループのガバナー補佐拝命を受け、2024-2025花田勝彦ガバナー年度の南グループガバナー補佐として約1年半活動を行ってまいりました。八戸西ロータリークラブとして初めてのガバナー補佐を輩出する年度となり不安で一杯、花田ガバナーを支え地区とクラブをつなぐ役割といっても実際に何を行ったらいいのか、悩みながらのスタートだった事を思い出します。拝命を受けたからにはやるしかない、八戸西ロータリークラブの会員と一緒にロータリーを学ぼうということで会長エレクトの大嵐さんと南グループ各クラブの挨拶回りをしました。各クラブからは思いのほか好意的に受け入れられ、早めに各クラブをお伺いしたことにより名前と顔を覚えていただき、ガバナー公式訪問、合同例会、南グループIMと各行事をクリアしていくことが出来ました。

ガバナー公式訪問に参加するにあたり、各クラブの活動計画書を読み込みむと、各クラブの活動に結構違いがあるということに気づかされました。他クラブの活動内容を知ることができるのもガバナー補佐の特権です。八戸西ロータリークラブの活動にもこの経験は生かされています。ガバナー公式訪問のクラブ協議会、活動計画の質疑応答においては場違いな質疑をして迷惑をかけたこともあると思います。この場を借りてお詫び申し上げます。

また、地区の各グループのIMにすべて参加したことにより、各グループのIMはそれぞれ個性があることが分かりました。IMはガバナー補佐が主催となる行事でしたが、南グループIMは地区スローガン「個性輝くロータリー」を受けて、私の職業である「税」の公平について勉強する機会を設けようと思い、前国税庁長官の住澤整様をお迎えしました。本来はロータリーについて深く学ぶ場にすべきだと思いましたが、1回しかないチャンスなのでガバナー補佐である私のやりたいことを行うことにしました。講師をしていただいた住澤様に深く感謝申し上げます。合同例会、南グループIMともに多数参加いただき、親睦の場として実り多い場となったのではないのでしょうか。

反省点としては、各クラブのマイロータリーへの目標設定に対する結果の入力を徹底すべきでした。本来はもっとロータリー賞が取れていたクラブもあったと思われます。また、地区の会員数の件で7月1日時点での入会、退会の調整指示が的確に出来なかったことです。メーキャップも4回出来たクラブと出来なかったクラブがありました。南グループ内での各クラブの活動内容の共有ももう少しできていればと悔やまれます。

しかし、この1年を通して南グループの各クラブの状況、ロータリーについて今までにないくらい学ぶことが出来、有意義な年を過ごすことが出来ました。

最後に、花田ガバナー、同期のガバナー補佐、南グループの各クラブの会員、そして八戸西ロータリークラブに支えられガバナー補佐として駆け抜けることが出来ました。感謝申し上げます。ありがとうございました。

2024-25 年度 委員会活動報告

会員増強部門

クラブ拡大・会員増強委員会



委員長

吉田 賢治

八戸南 RC

花田ガバナーのもと、2024年7月1日1100名を若干超えてスタートすることになりました。国際ロータリーから理事会決定事項として2026年7月1日時点での地区会員数が1100人を下回った場合、近隣の地区との合併することになります。人口減少とか、若い方たちがいないとか、別に合併してもいいんじゃないかと言った言葉も耳にしますが、それは会員増強という大きな壁にただ背を向け行動を起こさない自分への都合の良い理由づけでしかないように聞こえます。事実、新衛星クラブ誕生(11名)や会員増をはたしているクラブがあります。自分たちが考え行動し、失敗した考え、再度行動しないと会員増強にはつながりません。クラブ各々の取り組み方は違いますが、見据える先は同じです。奉仕と親睦を共有できる未来の仲間は、すぐそこにいるかもしれません。早く気が付いて声をかけましょう。一つの声掛け・一つの行動の積み重ねが2830地区のゆるぎない礎になることを信じ、継続していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。一年間ありがとうございました。

公共イメージ向上部門

公共イメージ向上委員会



委員長

工藤 孝子

弘前東 RC

一年を振り返りますと、新しい事への挑戦が沢山ありました。公共イメージ委員会の核となる委員を募集したりパワーポイントを作ったり、初めての公

共イメージについて情報収集し、この地区に合うプロジェクトを考えたり、忙しくも充実した時間でした。プロジェクトは実験的な、試みでもありました。新聞やテレビコマーシャルなどは、公共イメージとしてはインパクトがあります。新しい試みをする事で、みんなで公共イメージって何？ と疑問を持ち、考えて、より効果的な発信に繋がりたいと思いました。SNSやInstagram、FMラジオ等々です。

委員会の委員は、地区のあらゆる委員会を経験したベテランから、入会間もない方まで幅広く、「津軽鉄道ポリオジャック」は緩く走り出し、気がついた時には、一人ひとりが能動的になっていて、驚くほどのスピードでまとも上がりました。この流れの中で、各委員会の委員長からのご協力を頂き、ポスターを貼ってジャズやねぶた囃子を聴きにきた人達にロータリーの活動を見て頂く事が出来ました。ポリオへの寄付も思いがけず沢山頂きました。青森で昔流行ったポリオに罹患した佐藤さむさんから寄せて頂いた手紙は、地区のホームページに載せて頂いています。「津軽鉄道ポリオジャック」は、ゾーンの公共イメージのzoom会議で取り上げて頂きました。

次の課題はもっと2830地区を地域に発信していく為に、効果的な方法を戦略的に構築していく為に研究が必要であると思います。

一年間見守ってアドバイスを下さったガバナー、アドバイザーはじめ地区委員長、委員会の皆さま、お世話になった皆さま、ありがとうございました。



社会奉仕・職業奉仕部門

社会奉仕・職業奉仕委員会



委員長
岩岡 隆雄
八戸東 RC

本年度も青森大学にて、じょっぱり経済学を4月9日より7月23日までの計15回、ロータリーの講師を迎えて授業が行われました。

会場には150名以上の学生(内大学一年生が70%、2～3年生が30%)入学式まもなくの講義で90分間ロータリアンの熱い講座が開講されました。会場は400名規模の講堂を使っているため、ロータリアンの聴講も可能となっています。青森ケーブルテレビと八戸ケーブルテレビの配信もあり、ロータリーの経営学と職業奉仕の実践を広く理解していただく良い機会となったと感じております。次年度も2025年11月より募集開始を予定しております。講義は、自社の棚卸としても大変有効であり、会社の強みの再発見に繋がると感じます。ロータリー職業奉仕の実践を伝え、沢山の職業があることに気づき、地域経済に役立っていることを伝え、未来の社員獲得に繋がるとなれば幸と感じております。講師を務めて頂きました皆様、クラブの関係者、委員会各位に感謝しお礼とします。



2月8日には、職業奉仕フォーラムを開催しました。会場は季節柄雪の少ない県南を選び、八戸パークホテルにて八戸東ロータリークラブの応援により無事開催することが出来ました。講師に国際ロータリー第2750地区、東京八王子南ロータリークラブ奉仕プロジェクト委員 大本山高尾山薬王院 貫首 佐藤秀仁氏をお招きしてフォーラムを開催しました。

テーマ「靈気満山 なぜ人々がこの山に集うのか」の講演をしていただき、続いてワークショップでは、ロータリーの社会奉仕をテーマにファシリテーターの協力により考えを深めていただきました。

社会奉仕・職業奉仕委員会では「職業を通じて社会に奉仕する」を目指して参りました。ロータリアンの会社が元気であれば奉仕活動も出来ます。会員企業がしっかり職業奉仕が出来る環境創りに向けた事業を今後も進めて参ります。

一年間ご協力、ご支援ありがとうございました。

ロータリー財団部門

ロータリー財団委員会



委員長
佐藤 健一
青森 RC

地区財団委員会の役割は、①地区内Rotary会員に対してRotary財団の役割について理解増進を図り、②財団への寄金を募り、財団へ資金を提供し、③世界基金を通じて、又は財団から地区に還元される約4分の3の資金を活用して世界のために良いことをする、というRotaryの精神を実体化することです。

そのため、DTTS、PETSにおいてRotary財団の理解増進に努めたほか、地区内各クラブを通じて会員から寄金を募り、Rotary財団から還元された資金を活用して国外の地区やクラブと連携してグローバル補助金事業を実施し、また地区内クラブに補助金を支出し、身近な奉仕活動の実施を促進しました。

各クラブを通じての寄金は、資金推進委員会を中心に活動した結果、

- ・年次基金 \$ 100,482、②恒久基金 \$ 43,330、③ポリオ+ \$ 26,435、となりました。

グローバル補助金事業では、

- ・タイ3330地区との水と衛生プロジェクト1件3か所、②同じく3330地区における医療機器整備プロジェクト1件、③大学院レベルの留学希望者に対して1件の奨学金の支給を行いました。

地区補助金を活用した各クラブの身近な奉仕プロジェクトでは合計35件が展開されたほか、当地区では初めてとなる新規海外留学のための奨学金も1件支給しました。

それぞれの具体的内容につきましては、各委員会

からの報告をご覧ください。

ロータリー財団部門

地区補助金委員会



委員長

西尾 和樹

八戸南 RC

2024-2025年度は、34クラブ(衛星クラブを含めると35クラブ)が地区補助金を活用して奉仕活動を行っていただきました。また、今年度は衛星クラブでの実施と奨学金の支給がありました。

各クラブが新規のプロジェクト、継続したプロジェクト、様々な創意工夫のうえ、奉仕プロジェクトを計画・実施されていることに深く感謝いたします。

地区補助金は、地域のための奉仕プロジェクトに活用できる補助金です。各クラブが継続的にプロジェクトを実施することが大事だと思いますので、一度実施されたクラブには、毎年継続的に申請していただければと思います。そして、活動内容を広くPRしていただきたいと思います。

申請クラブを増やすことはもちろんですが、地域のために補助金を有効に使えるようフォロー体制を整えていきたいと思いました。各クラブの皆様には、この1年、ご理解・ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

ロータリー財団部門

グローバル補助金委員会



委員長

須藤 朗

野辺地 RC

グローバル補助金は、複数の国に属するロータリークラブ、あるいは地区による共同事業に対して授与されるものであり、持続可能で大規模かつ測定可能な成果を生む活動を支援するものです。

本年度、当委員会は次の事項を活動の柱として掲げました。

- A) グローバル補助金の認知度を高めること
- B) 実施国より寄せられるプロジェクト提案を慎重に吟味し、適切に選定すること
- C) 各クラブが主体的に補助金申請へ取り組めるよう支援体制を整えること
- D) 財団奉仕事業の公共的イメージを一層向上させること
- E) 「地区財団活動資金(DDF)運用規定」及び「グローバル補助金のためのDDF申請書」の制定

A)に関しましては、地区大会や財団セミナーにおいてスライドを用いてグローバル補助金の概要を紹介し、さらに、タイ王国ナコーンシータマラート地区への視察報告を例会卓話として披露する機会を得ました。

B)に関しては、クラブ単独による申請の試みもございましたが、ロータリーの七つの重点分野に合致せず、取り下げに至った例もありました。今後は「3P(パートナーシップ・プラン・パッション)」——すなわち相互の信頼関係、周到な計画、そしてやり遂げる熱意——を基準として、関係者と共に最適な案件を選定してまいりたいと存じます。

C)に関しては、クラブ単独申請には高いハードルがございますが、要件を正しく理解し、相手国との緊密な意思疎通を図ることにより、実現への道は開かれると確信しております。

D)に関しては、タイでの視察に際し新聞社の取材を受けましたが、記者の転勤により掲載には至りませんでした。しかしながら、ガバナー月信(3月号)、並びに『ロータリーの友』(4月号)に記事として取り上げられ、一定の成果を収めることができたと考えております。

E)に関しましては、草案をとりまとめ関係各位に提出済みであり、近く正式に制定されるものと思っております。

今回のタイにおける事業(GG2460724)を通じて痛感いたしましたのは、政府の支援が十分に及ばぬ地方において、人々がなお汚染された地下水や河川水



を生活用水として用いざるを得ない厳しい現実でございます。家畜の糞尿や農薬による水質汚染の問題は深刻であり、本プロジェクトの実施によって、生徒や教職員、さらには地域住民が安全な水と衛生的な環境を享受できることは、地域全体の健康と生活水準の向上に直結するものであります。現地を訪れ、自らの目でその環境を確認したことで、改めてこの活動の尊さと意義の大きさを深く認識いたしました。

今後も、ロータリーが掲げる七つの重点分野への対応において、グローバル補助金は極めて有効な手段であると確信しております。より広範かつ効果的なプロジェクトの推進を通じて、さらに多くの人々に奉仕の手を差し伸べることが出来ると思います。結びにあたり、皆様方の変わらぬご指導とご支援を心よりお願い申し上げます。

ロータリー財団部門

資金推進委員会



委員長
櫛引 大樹
青森 RC

2024-2025年度の資金推進委員会の活動報告を申し上げます。

初めに、最重要項目である寄付ゼロクラブをゼロにすることを花田年度も引き続き達成することが出来ました。

ひとえに、各クラブの会長を筆頭に取り組んでいた会員皆様のおかげだと思っております。誠にありがとうございました。

次に、もう一つの目標であるロータリーカードの周知と利用促進についてです。

2024-2025年度の実績といたしましては、①ダイナースクラブカード(主にクラブにて利用)においては年間約1500万円もの金額が利用されて、約4万5千円ほどの金額がポリオ根絶への寄付金としてカード会社から支払われました。2023-2024年度での利用が約840万円だったことより、前年より1.8倍ほど利用が増えました。

②オリコカード(主に個人で利用)では、約1660万円の利用でおおよそ5万円ほどの金額が寄付されました。こちらは地区ごとの前年比が発表されていませんが、全体での利用金額では前年比97%となっており、引き続き高い水準で推移しております。

ロータリーカードの周知を地区大会や各種研修会に行いたいと考えておりましたが、全くできなかったことが花田年度での大きな反省です。

最後になりますが、この一年間多大なるご協力をいただきました各クラブの皆様方に感謝申し上げますとともに、2025-2026年度も引き続きご協力・ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

ロータリー財団部門

平和フェロシップ・奨学金・学友委員会



委員長
竹島 直樹
十和田東 RC

昨年のグローバル奨学金奨学生、おいらせ町出身の永井美鈴(旧姓中村)さんに引き続き花田年度は、木下裕貴さんが『術後せん妄の病態機序解明および治療法を確立し、高齢患者が安心して手術を受けることができる医療社会の実現』の勉強のためアメリカのペンシルベニア大学に留学します。木下裕貴さんは、田名部高校、弘前大学医学部医学科、弘前大学大学院医学研究科医科学専攻を卒業され、現在は弘前大学大学院医学研究科麻酔科学講座に所属しております。大学卒業後、初期臨床研修を経て母校の弘前大学医学部附属病院麻酔科に所属し、手術室における麻酔や集中治療室での業務に従事しました。手術の侵襲によって起こる急性の意識・注意障害である術後せん妄は、高齢者で発症しやすく、術後の認知機能に関連することがわかっている。木下さんは麻酔科医となって以降、術後せん妄の研究に取り組み、新しい概念や予防手段について先駆けて提唱してきた。その成果は国内外で評価され、2024年日本麻酔科学会若手奨励賞、第71回日本麻酔科学会最優秀演題賞、令和6年度弘前大学医学部若手奨励賞をはじめとした多くの受賞につながっている。しかし、術後せん妄の病態機序や予防・治療法はいまだ確立されていない。留学先であるペンシルベニア大学麻酔科は、術後せん妄の研究を世界最先端で行っており、このような研究環境でより高度な研究を行うことにより、国内外の高齢患者が安心して手術を受けることができる医療社会の実現を目指している。奨学金期間が終了した後は、現在所属している弘前大学麻酔科学講座に戻って手術麻酔・集中治療

の研究・臨床業務に従事し、青森県を中心に高齢者が安心して手術を受けることができる環境を築いていきたいそうです。

このような優秀な学生を一人でも多く支援できるようにロータリーの会員の皆様のご協力をお願いするとともに皆様のご支援に感謝いたします。

ロータリー財団部門

ポリオプラス委員会



委員長
成田 俊介
弘前西 RC

2024年10月12日地区大会でのポリオウォークラリーを田名部高校IACの協力で開催させていただきました。地区のロータリアンにも参加していただき、募金を集めてポリオプラスに寄贈しました。

10月20日公共イメージ向上委員会主催の「津軽鉄道ポリオトレインジャック」当委員会も協力して開催しました。実際のポリオサバイバーに参加していただきポリオ感染松への理解が深まったと思います。

11月23日(土)に日本を出発してパキスタン・イスラム共和国のカラチ市でのポリオワクチン接種活動に行き、11月28日(木)に帰国しました。地区ガバナー以下ロータリアンとその関係者を含めて総勢11名で参加してきました。ポリオ感染症だけでなく、感染予防の為に水と衛生が大事かを確認しました。

2025年1月18日(土)、19日(日)に弘前市と八戸市で、映画「じょっぱり」の無料上映会をDEI委員会主催、ポリオプラス委員会協力で弘前市と八戸市で開催しました。この映画の主人公、花田ミキさんは弘前市出身の看護師で、八戸市で昭和24年に大流行したポリオの治療に尽力された実在の人物です。映画鑑賞



には、弘前市は240名、八戸市は360名の参加者が集まりました。一般市民がご来場するに当たり地区のロータリー活動などを公共イメージ向上委員会・DEI推進委員会・ポリオプラス委員会が展示を行い、Rotaryのイメージアップが出来たと思います。

委員会の垣根を越えた地区委員会活動を実施でき、関係されました各種委員会に感謝します。

国際奉仕・青少年奉仕部門

国際奉仕委員会



委員長
柴田 文彦
むつ中央 RC

国際奉仕委員会では、地区の委員会で国際的行事に自ら参加すること、助成することを勤めとしました。

ポリオプラス委員会が行ったポリオウォークラリーは、10月12日五所川原での地区大会時に実施され、田名部高校インターアクトクラブと共に参加助成しました。同じく同委員会でのパキスタンでのポリオワクチン接種事業は、11月23日から現地に向かい従事しました。パキスタンでの経験は、生涯忘れない体験でロータリアンであることの誇りを感じました。

インターアクト委員会が行ったインターアクトの翼は、12月25日から台湾宜蘭県羅東鎮で実施されました。当事業の協力クラブ第3400地区羅東RCと受入れ高校国立羅東高級中学校に交渉を重ねさせてもらい行程を立案計画して事業の助成を行い同時に参加しました。

上記、インターアクトの翼に関して、次年度(2025-26)開催が未定であったことから台湾宜蘭



県羅東鎮へ有志6人で実施の交渉に行ってきました。行程の都合で年度を超えた7月6日からでしたが、今年度の事業として行いました。結果、次年度(2025-26年度)も12月実施されることが決定しました。

国際奉仕・青少年奉仕部門

青少年交換委員会



委員長

岡山 信広

六ヶ所中央 RC

今年度は2024-25年度受入学生として台湾D3461からWei-Min LEE(うえい みん リー)くん(愛称: LEO)を、六ヶ所RCをホストクラブとして受け入れました。彼は2024年8月から2025年8月まで早期帰国することなく、「小さな親善大使」として六ヶ所RCメンバーへも良い影響を残して帰国しました。本人は弘前大学医学部への進学を希望しております。

2025-26年度派遣学生として、黒石RCをスポンサークラブとして黒石高等学校3年生村上さくらさん、八戸北RCをスポンサークラブとして八戸北高等学校2年生澤口菜月さんの派遣準備をしました。村上さんはイタリアへ、澤口さんはアメリカを希望していました。本人たちへ派遣学生としてのオリエンテーションを東北多地区青少年交換合同のウインターキャンプ(山形)、スプリングキャンプ(福島)で実施しました。

村上さくらさんの交換学生としてDaniel Buonfiglio(ダニエル ボンフィリオ)くんがイタリアD2090から派遣される予定です。黒石RCがホストクラブとなる予定です。

当地区のロータリアンの皆さまにおかれまして



は、引き続き青少年交換事業へのご理解とご協力を賜ればありがたく存じます。

国際奉仕・青少年奉仕部門

インターアクト委員会



委員長

松山 隆志

野辺地 RC

現在地区内には22校にインターアクトクラブが組織され、それぞれが特色ある奉仕活動を実践しています。

地区インターアクト委員会の活動として当初計画しておりましたのは

- ①年次大会の開催
 - ②「インターアクトの翼」事業の実施
 - ③ガバナー表彰の実施
- の3つの事業でした。

①年次大会の開催

第57回インターアクト年次大会を下記の通り開催いたしました。

実施日時: 2025年5月24日(土) 1日開催

会場: 弘前市りんご公園

ホストクラブ: 弘前学院聖愛中学高等学校インターアクトクラブ

提唱RC: 弘前ロータリークラブ

参加者: インターアクター94名(当日参加9校)

引率顧問教師11名

ロータリアン55名

内容:

- ①各校インターアクトクラブ活動報告
 - ②バーベキュー交流大会/顧問教諭懇談会
 - ③宮下宗一郎地知事を囲んでの座談会
- 「宮下宗一郎知事と語ろう!

未来の私たちの青森県について」

今年度はホストクラブをお引き受けくださった弘前学院聖愛高等学校IAC及びその提唱クラブの弘前RCご協力により上記の通り開催することが出来ました。心より感謝申し上げます。

各校活動報告では、それぞれの地域に根ざした奉仕活動を積極的に実行している様子を発表しあい、他校の活動はお互いに参考になったことと思います。宮下知事との座談会では、高校生として疑問に感じていることについての問いに、知事の前向きな

お話しは参加者にとって将来への大きな糧となったのではないのでしょうか。中身の濃い大会でした。

②「インターアクトの翼」事業の実施

下記の通り実施いたしました。

日程：2024年12月25日(水)～12月29日(日)4泊5日

訪問地：台湾国台北市及び宜蘭県羅東鎮

参加者：インターアクター14名引率顧問教師1名
ロータリアン6名

内容：

①現地高校生との交流活動、合同授業

②現地家庭でのホームステイ

③訪問地視察研修

③ガバナー表彰の実施

各校より推薦のあった卒業年次のインターアクターに対して、在学中の積極的な奉仕活動を顕彰するために「ガバナー表彰」「地区委員長表彰」を授与しました。



国際奉仕・青少年奉仕部門

ローターアクト委員会



委員長

竹内 知弘

弘前西 RC

2024-25年度ローターアクト(以下「RAC」と言います。)委員長を拝命いたしました弘前西ロータリークラブの竹内です。

活動を振り返ってみて、やりたいこと(願望・目標)は、ほぼ出来なかった事の方が多かったと思います。そこは課題として次期のRAC委員長である峰委員長にお任せしたいと思います。

念のため、当初に掲げた願望・目標としては、以下のものがあげられます。

- ・ 年次大会の開催
- ・ RACによるロータリー地区補助金の活用
- ・ ポリオ活動
- ・ RYLAへの参加
- ・ RLIへの参加

掲げた願望・目標の達成は難しかったのですが、各RACの横の繋がりをつけることが出来た事に、自分としては及第点をあげたいと思います。

各RACは、点の活動をしていることが多く、なかなか全体の活動にまで手が回らない状態です。その原因の1つとして、他のRACとの交流がないことがあげられます。本当は例会を通じてコミュニケーションを取れば一番良いのですが、「今は」活動を通じてのコミュニケーションを維持できれば御の字かも知れません…。

今後どうなるかは未知数ですが、うまくこの繋がり維持、活用できれば願うばかりです。

さて、私としましては、小さなステップを積み重ねていく活動だったと思い返しておりますが、その小さなステップも周りの手助けが無ければ出来ないことばかりでした。この場を借りてスポンサークラブ様に御礼申し上げます。

また、この小さなステップを維持し続けていく原動力は、やっぱりリーダーである花田ガバナーの本気度があったからだと思います。

年度末ギリギリの6月に青森大学のRAC復活に向けて動き出した時は、正直無理過ぎると感じましたが、あれよあれよという間に、何とか動き出せそうなところまで漕ぎつけたのは、花田ガバナーがエレクトの時から見せていた本気度が、このような結果につながったと私は感じております。

最後に、RAC委員長はやりがいがありますが、とても難しいとも感じました。ですので1人でやるのはあまりお勧めできません。各青少年委員長との横の繋がりや、委員とのやりとりはあった方が良いです。そういう意味では、私は恵まれた委員長でした。とても良い仲間が周りにいて、委員長をやり遂げることができました。この場を借りて御礼申し上げます。どうもありがとうございました。

↑個性輝くロータリー↑

↑ Simply irresistible ↑

国際奉仕・青少年奉仕部門

RYLA委員会



委員長
三浦 基
青森 RC

RYLA委員長を務めさせていただき3回目のRYLAプログラムを2025年6月14日・15日に青森市の青森公立大学国際交流ハウスで開催しました。

1日目は第7代ねぶた名人 ねぶた師の竹浪比呂央先生に「青森ねぶたまつりの歴史とねぶた制作でのリーダーの役割について」の講義をいただき、ねぶた制作時における適材適所の人材配置の思考と手法を学びました。その後のグループディスカッションで「若者インバウンドを青森県に呼び込む方法」と「青森県を世界に発信する方法」の2テーマで行いました。友愛の夕べでは青少年とロータリアンの席をランダム配置することで様々な交流がありました。2日目は米谷ガバナーエレクトの合気道講座から始まり柏公市会員(青森RC)より「会社経営におけるリーダーシップと社会生活における基本行動」についての講義をいただきました。こちらは社会人の参加者やロータリアンに経済人としての在り方や会社活動におけるリーダーシップについて学ぶ機会になりました。

2日間事故なく怪我無く参加者の皆様と笑顔で過ごせたことは我々委員にとって何よりのご褒美でした。

2022年にRYLA委員長を拝命しましたがコロナ禍で開催がしばらくなく、RYLAプログラム自体の資料もなく委員の皆様のお世話になりながらゼロイチから作ったプログラムなのですが、私が考えたロータリー・ユース・リーダーシップ・アワードはリーダー像そのものを学んでいただいたり「リーダーとはこうあるべきだ」ということを学んでいただいたりする場ではないということです。現在リーダーとして活躍されている方のリーダーシップがどのような経験則から生まれ、どのように現在は判断されているのかその過程や現在を知る機会を得ることで青少年の皆様に「リーダーって何なんだろう?」を考えるきっかけになる場こそが私の目指すリーダー研修でした。その考えを念頭に3年間プログラムを実行させていただきました田中パストガバナー・築館パストガバナー。

花田ガバナーに感謝申し上げます。

また参加してくださった多くの青少年の皆様、お声がけしてくださった多くのロータリアンの皆様、3年間誠にありがとうございました。次年度は藤川聡会員(青森RC)が委員長を務められ、私は副委員長としてバックアップさせていただきます。

次年度も多くのご参加をいただきますようお願い申し上げます。

末筆になりますが3年間RYLA委員になってくださった皆様に感謝申し上げます



米山記念奨学部門

米山記念奨学委員会



委員長
佐藤 一尚
青森 RC

2024-25年度の各事業を無事終える事が出来ました。花田ガバナーはじめとする地区役員の皆様、委員会の皆様、そして地区内各クラブ会長はじめとするロータリアンの皆様に心より感謝申し上げます。

当委員会は、寄付金、米山奨学生との交流、優秀な人材の選考という重点項目で活動をさせて頂きましたが、それぞれについて振り返ります。

まず、寄付金ですが、普通寄付3,000円特別寄付20,000円を目標としてお願いをさせて頂きましたが、普通寄付は全クラブで納入頂けましたが、特別寄付はゼロクラブが数クラブという結果でした。クラブ訪問などを通じて寄付を呼び掛けましたが、努力不足は否めないものと感じております。

続いて、米山奨学生との交流ですが、オリエンテーションや卓話講習会、米山フォーラムといった場を設けながら、交流を深めると共に、LINE等で連絡

を取ると切れ目なく配慮しました。但し、行事を設定する上で各大学の行事と重なるなど一部参加出来ない米山奨学生がいたので、行事設定の配慮が欠けてしまい、申し訳無く感じております。

最後に、優秀な人材の選考は、12月の面接選考会において、11名の新規米山奨学生を選考する事が出来、当地区では継続4名、新規11名の計15名の米山奨学生をお世話させていただきます。中グループ内の大学からの応募が多かったのですが、近隣クラブにもお声がけさせて頂き、お世話クラブ・カウンセラーを選出しました。米山奨学生には有意義な奨学期間を過ごして貰えればと思いますし、委員会としてもしっかりとフォローしていこうと改めて思う瞬間でした。

初委員長として、各事業を遂行するのにバタバタとしてしまいましたが、委員会メンバーのご協力が何よりの助けとなりました。委員会の皆さん、ありがとうございました。今年度の学びを次年度にも活かせるよう頑張ります。

引き続き、当地区でお世話している米山奨学生に対し、温かいご理解とご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。



DEI推進部門

DEI推進委員会



委員長
源新 育子
八戸北 RC

花田ガバナーにより地区DEI推進委員会が新設され、男性4名女性2名の計6名が委員に選出されました。日本34地区のうちDEIに関わる委員会がある地区はまだ13地区しかありませんでした。花田ガバ

ナー(エレクト)のご英断は、2026年7月1日の時点で会員数が1100名を割ると他地区との合併が確定されている当地区においては、必要不可欠であったと言えます。しかしながら、DEIについてはどこからどのように情報を得るか、研修ができるかさえも手探りででした。まして委員構成は五所川原、むつ、八戸、弘前と点在しており、なかなか直接会って会議をすることは難しいことから、ズーム会議を中心に、まずはDEIの理解から話し合いました。またDEIの啓蒙活動を行うにしても現状地区内クラブではどのような状態なのか「DEIについての意識調査」を40クラブの協力を得て行った結果、約7割以上のクラブが理解が進んでいない、よく分からないという内容でした。しかしながらロータリーのDEIに対するニーズは高く中核的価値観に基づいたあらゆる行動がミッションとして掲げられています。まずは委員会のDEIに対する認識を統一し、さらにクラブや個々の会員の理解を得るまでの手段として、「DEI推進地区マニュアル」に値する内容をまとめ、地区の情報源から各クラブがダウンロードできるようにしたいと考え第1弾として「多様性のあるクラブを目指して」をまとめました。第2弾は作成中です。

委員会活動方針のテーマ

「仲間を増やそう、もっとロータリーを知ろう」
活動内容

- 1, DEI理解の推進に努め、会員増強につなげる
(DEI理解につながる資料づくりおよび配信)
- 2, 複数の委員会と連携し実りある活動に繋げる
(帰属意識を持てるような活動の実施)
 - ①公共イメージ ポリオデーへの協力
 - ②ポリオ対策委員会 映画「じょっぱり・看護の人花田ミキ」上映
(2025年1月18日弘前、1月19日八戸)
募金活動では20万円を超える金額が集まりました。
 - ③会員増強委員会「女性会員の集い」開催
2025年6月14日
 - ④青少年奉仕委員会 ローターアクト・イン



ターアクト活動への協力

- ⑤東第1、第2グループIM(2025年6月14日(日))
③、④は日程がIMと重なり実施できず。IMは「DEIを共に学ぶ」として委員会全員で臨みました。まだまだ課題はありますが、IMでの経験は私たち委員会にとって、DEIを体現した実りある学びとなり、次年度に繋がる活動となったのではないかと思います。

ロータリーリーダーシップ研究会

R L I 委員会



委員長
三浦 真介
弘前 RC

諸経緯によりRLIは年度末に近い5月24日(土)～25日(日)に行う年間計画となり、それに向けて当初の計画日程であった12月7日(土)～8日(日)に1泊2日でのファシリテーター研修会を行うなど研修に時間をかけるとともに、2月8日(土)に八戸で行われた職業奉仕フォーラムでのワークショップや3月23日(日)に行われたPETS(会長エレクト研修セミナー)2日目の分科会に際しての協力と実践の機会も経ながらファシリテーター経験の強化と拡充に努めてまいりました。

そうして満を持して迎えたつもりであった5月のRLIでしたが、1日目に他の地区事業等が重なったことのみならず、そもそもの目標人数も漠然としたまま初めての運営責任に手一杯となってしまったこともあり、当日に至っては更なるグループやファシリテーター分担の急遽の変更対応等にも追われることとなり、終わってみれば私自身が参加者の皆様から激励と慰労を頂くという有様となってしまいました。

当地区におけるRLIへの取り組みの先進性と蓄積については多く語り継がれてきたところであり、ファシリテーター経験者の意識や実力の高さに多くを負ってきている一方で、未経験者や一般会員からは近寄りがたさや敷居の高さを抱く方々も少なくないとも聞き及んでいるところでもあります。

これはロータリー活動全般に言えることなのかもしれませんが、経験者と未経験者、参加意識や所属意識の差異が容易に二極化を生んでしまいがちな傾向の帰結した1つの現状なのだろうという気もする

のです。

かくいう私もファシリテーターが得意であるとも向いているとも言いがたい自己認識の中で当役に就いているところを見れば、ファシリテーターであれ参加者であれ、失敗や緊張の経験こそが何事にも付き物なのであり、それでもなお参加し挑み続ける姿勢を評価する仕組みや雰囲気を作ることが必要なのだろうと思います。

今回のRLIでは行きがかり上の部分もあったとはいえ、未経験ながらぶっつけ本番ながらにファシリテーターを務めていただいた方々もあり、実践を最大の研修の場として活用いただく機会を得られたことが不幸中の幸いでもありましたが、参加し一歩前に出たからこそ得られた気付きや向上が確かにあったはずなのです。

地区の年間スケジュールには三大研修や各種事業やクラブ周年行事等、特に週末は空き日程を探すことの方が難しく、そこへ1泊2日の研修ともなると運営側も参加者側も何らかの調整や取捨選択を迫られるものですが、そうした状況の中でも敢えて選ばれるためには、決して大上段に構えるでも媚びるでもなく、RLIへの理解者や賛同者を一人ひとり増やしていくしかないのでしょう。

そして幸いなことに先述したような経験の蓄積に加え、他の行事におけるRLI形式の試用や活用の事例も増えつつ浸透し始めてもきているため、誰しもが当初は初心者であり未熟者であったのだという原点と謙虚さと向上心を常に携えつつ、誰しもが更に一歩前へと進んでいくことのできるような環境づくりの一助をこれからも担っていきたい所存です。



ロータリーの友地区代表委員



木下 一志
五所川原 RC

本年度は「ロータリーの友」を会員がロータリーの理念を深く理解するための重要なツールと位置づけ、誌面と会員をつなぐ架け橋となることを目指しました。

年間の主要な活動として、毎月発行される誌面を精読し、記事への意見や活用状況をまとめた月例レポートを、専用フォームを通じてオンラインにて提出してまいりました。この継続的なフィードバックにより、現場の声を直接編集部へ届けるとともに、地区代表委員として常に最新の情報と多角的な視点を維持するよう努めました。

2024年10月の第2830地区大会においては、会員の皆様へ「ロータリーの友・デジタル版」の積極的な活用を提唱いたしました。デジタルの検索性や携帯

性を活かし、学びの機会を広げることを目的としています。同時に、各クラブの素晴らしい奉仕活動を全国へ広めるため、誌面への積極的な記事寄稿も併せて呼びかけました。「読む」だけでなく「発信する」側として参加することで、地区全体の活力を高める一助となるよう推進いたしました。

また本年度より、地区大会等のイベントにおいて「ロータリーの友委員」の存在をより身近に感じていただくため、専用の腕章を着用して活動することといたしました。視覚的なアピールを行うことで、会員の皆様が誌面に関する要望や質問を気軽に相談できる窓口としての役割を明確にしました。

活動の記録として、2024年9月6日の八戸東RCでの卓話を実施したほか、3月の地区代表委員オリエンテーション(東京)、7月の第1回合同会議(東京)、11月の第2回合同会議(オンライン)に出席し、全国の委員との研鑽と連携を図りました。

視点 — ガバナーのロータリー・モメント

世界と確かに
つながっている！

第2830地区 青森
花田勝彦 ガバナー(五所川原 RC)

2024年11月、「チームポリオジャパン」の今期第1陣として地区の仲間12人とパキスタン・カラチを訪れ、ポリオワクチン投与活動をしてきました。ロータリーに入会して20年、心に残る出来事を思い返すと、これほど強烈な体験は他にありません。



インド系移民の暮らすテントハウスでワクチンを投与

自分の行動がこれほどダイレクトに世界の誰かのために役立っていることを実感できることは……。行く前の予想をはるかに超えた充実感を得ました。

現地は武装警察官が私たちを警護しなければならないほど治安が悪く、移民が暮らすテントハウスの衛生環境は劣悪なもの。イスラムの国では戸別訪問のワクチン接種の際、女性のヘルスワーカーが不可欠。カラチだけで2万人いるという彼女らと訪れた先で見た、はだしで過ごす幼い子どもたちは、「経口ワクチンを2滴垂らす外国から来たおじさん」にも、無邪気で素直な笑顔を向けてくれます。ライフラインや衣食住、平和といった日本の子どもたちには当たり前に存在しているものが、この子たちにはありません。

世界の中で自分を意識する体験は、無力感にさいなまれる半面、今後、自分のロータリー活動、ひいては人生の指針の一つにさえなり得る。日々の活動よりも明確な輪郭を持つ貴重な体験となりました。ガバナーになっていなければきっと参加することのなかった多くの活動や、会うことのなかった人々はたくさんいますが、パキスタンでの活動は私にとって、世界とつながるロータリーを実感できたモメントとなりました。(弁護士)

出典 ロータリーの友2025年3月号

第2830地区



ケッパレ あいどし

はなだかつひこ
花田勝彦ガバナー
(五所川原 RC)



彼との出会いはかれこれ20年近くも前となります。当時、私はJCIに入会しており、彼は例会の講師として現れました。私は彼を“さん”付けで呼んでいますが、あいどし(同い年という意味)です。しかし、この時から貫禄があり、当時も今もずっと自分の先輩のような感じで付き合っています。弁護士という職業柄なのか、多少なりとも“取っ付きにくさ”を感じました。私がロータリークラブに入会し、顔を合わせるたびにその“取っ付きにくさ”はなくなり、ガバナー選出クラブとして共に準備を進めるにつれ、気心の知れた仲となりました。それでもいまだに“花田さん”と呼んでいますけどね。

彼は食べることが飲むことが大好きで、中でもワインにはすごく凝っているようです。私たちクラブの仲間も時折、彼が薦めてくれるおいしいワインを頂く機会を得たりします。ただ、周りの「もう少し痩せた方がよい」という助言も意に介さず、食やワインを追い求めていることが少し心配です。

物事の進め方や事務処理はしっかりしています。人柄はちょっと堅いかもしれませんが、地区内全てのクラブの繁栄を願い、一年間全力で活動してくれと思っています。その結果、痩せられると良いですけどね(笑)。

五所川原 RC 今 広樹

職業分類一弁護士 1968年8月28日生。(有)さくら総合法律事務所所長弁護士。2004年五所川原RC入会。地区幹事、社会奉仕・職業奉仕委員長。

①断れない、判官びいき、グルマン
②「ゴースト」、「原因」と「結果」の法則。サゼンと尾崎
③支那屋はしごの横濱担々麺とカブセンターのおぼろ

令和6年 7月号

出典 ロータリーの友2024年7月号

2024-25 年度 ガバナー公式訪問

	クラブ名	例会日	会長・幹事面談	クラブ協議会	公式訪問例会	例会場所
東第1グループ	む つ	7月16日 (火)	16:00～	17:00～	18:30～19:30	むつグランドホテル
	野 辺 地	7月9日 (火)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	ウロコマル野坂屋 蔵 (KURA)
	七 戸	7月18日 (木)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	七戸商店会協同組合 2F
	東 北	9月9日 (月)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	青森原燃テクノロジーセンター
	む つ 中 央	9月25日 (水)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	はねやホテル
	六 ケ 所	9月26日 (木)	10:00～	11:00～	12:00～13:00	スパハウスろっかぽっか
東第2グループ	三 沢	9月17日 (火)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	きざん三沢
	十 和 田	8月20日 (火)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	サン・ロイヤルとわだ
	十 和 田 東	9月12日 (木)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	サン・ロイヤルとわだ
	お い ら せ	9月11日 (水)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	レストランカワヨグリーンロッジ
	三 沢 東	9月19日 (木)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	きざん三沢
	十 和 田 八 甲	9月11日 (水)	16:00～	17:00～	18:30～19:30	十和田シティホテル
西第1グループ	五 所 川 原	10月9日 (水)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	ホテルサンルート五所川原
	金 木	7月23日 (火)	16:00～	17:00～	18:00～19:00	奴寿し
	鯡 ケ 沢	7月11日 (木)	16:00～	17:00～	18:00～19:00	水軍の宿
	鶴 田	7月22日 (月)	10:00～	11:00～	12:00～13:00	鶴田町役場国際交流会館
	五 所 川 原 中 央	8月22日 (木)	16:00～	17:00～	18:30～19:30	ホテルサンルート五所川原
	つ が る	7月23日 (火)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	つがる市商工会 2F
	五所川原イヴニング	9月18日 (木)	15:00～	16:00～	17:00～18:00	ホテルサンルート五所川原
西第2グループ	弘 前	7月29日 (月)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	RAGLEY (ラグリー)
	弘 前 東	8月7日 (水)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	アートホテル弘前シティ
	板 柳	7月30日 (火)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	板柳町商工会館 2F
	黒 石	8月8日 (木)	16:00～	17:00～	18:30～19:30	赤提灯 2F
	大 鰐	8月6日 (火)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	山忠会館
	弘 前 西	9月24日 (火)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	創作郷土料理の店 菊富士 本店
	平 賀 ・ 尾 上	9月24日 (火)	16:00～	17:00～	18:30～19:30	南田温泉ホテルアップルランド
	弘 前 ア ッ プ ル	8月26日 (月)	17:00～	18:00～	19:00～20:00	弘前総合学習センター
中グループ	青 森	7月25日 (木)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	ホテル青森
	青 森 北 東	8月28日 (水)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	ホテル青森
	青 森 中 央	8月26日 (月)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	ホテル青森
	青森モーニング	8月27日 (火)	10:00～	11:00～	12:00～13:00	ホテル青森
南グループ	八 戸	7月3日 (水)	16:00～	17:00～	18:00～19:00	八戸グランドホテル
	八 戸 東	9月20日 (金)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	八戸パークホテル
	三 戸	8月21日 (水)	15:00～	16:00～	17:00～18:00	鴛鴦殿
	五 戸	9月4日 (水)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	アビル五戸
	南 部	10月1日 (火)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	バーデパーク アヴァンセ
	八 戸 北	9月3日 (火)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	八戸プラザホテル
	八 戸 南	9月5日 (木)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	八戸パークホテル
	八 戸 中 央	7月8日 (火)	16:00～	17:00～	18:30～19:30	八戸プラザホテル
	八 戸 西	10月3日 (木)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	八戸プラザホテル





弘前RC



板柳RC



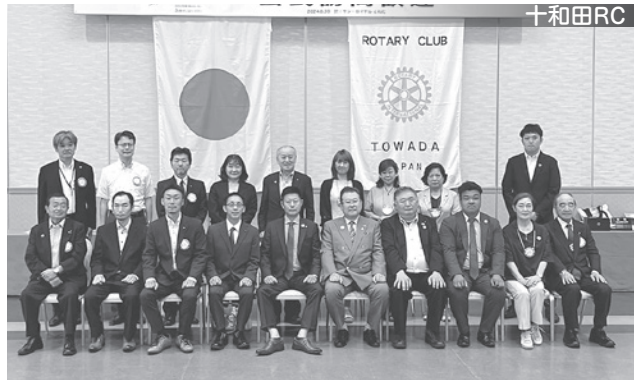
大鰐RC



弘前東RC



黒石RC



十和田RC



三戸RC



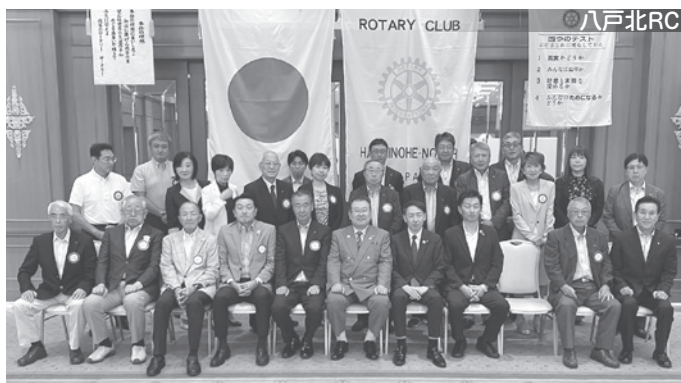
五所川原中央RC



青森中央RC



弘前アップルRC





2024-25 年度 地区主要行事

開催年月日			行 事 名	開催場所
2024	7月	1 日(月)	2024-25年度 ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	東京プリンスホテル
		7 日(日)	第13回 全国青少年交換委員長会議	AP東京八重洲
		13日(土)	第1回財団セミナー	アスパム
		14日(日)	第1回地区戦略計画委員会オンラインミーティング	Zoom
		25日(木)	南グループ合同例会	八戸プラザホテルアーバンホール
		27日(土)	RLI日本支部総会及び研修会	オリンピック記念青少年総合センター
		28日(日)	第1～3地域合同 公共イメージ向上オンラインセミナー	Zoom
	8月	4 日(日)	全国地区ローターアクト委員長・地区代表合同会議	ハイブリッド開催
	9月	1 日(日)	地区監査委員会、表彰委員会	ホテル青森
			プレガバナーエレクトローニングセミナー(Pre-GELS)	パシフィコ横浜
		2 日(月)～3 日(火)	2024-25年度 第1回ガバナーエレクト研修セミナー(GELS#1)	パシフィコ横浜 会議センターほか
		4 日(水)	2025～26年度の地区ラーニングファシリテーター・セミナー(DLFS)	パシフィコ横浜
		7 日(土)	RLI委員会並びにファシリテーター懇談会、懇親会	カクヒログループスーパーアリーナほか
		8 日(日)	第3回 全国RYLA運営委員会及び地区RYLA委員長合同会議	対面+Zoom(ハイブリッド開催)
		14日(土)	第2回 地区戦略計画委員会オンラインミーティング	Zoom
		15日(日)	第1回 ローターカード地区推進委員セミナー	Zoom
		17日(火)	第1地域グループ別オンラインミーティング(イメージ向上)	Zoom
		21日(土)	米山フォーラム(米山のつどい)	ホテル青森
	10月	6 日(日)	第13回 全国危機管理委員長会議	ハイブリッド開催
		12日(土)	会長幹事会、地区指導者育成セミナー・RI会長代理歓迎晩餐会	ホテルサンルート五所川原
		13日(日)	地区大会・大懇親会	オルテンシア／プラザマリユウ
		20日(日)	津軽鉄道ポリオジャック in 五所川原	立佞武多の館／津軽鉄道客車内
	11月	8 日(金)	委員長ミーティング	オンライン
		10日(日)	第2回RLI委員会	オンライン
		16日(土)	西第1グループIM	ホテルサンルート五所川原
		18日(月)	社会奉仕・職業奉仕委員会	ホテル青森
			第3回地区戦略計画委員会	Zoom
		21日(木)	青少年交換派遣候補学生(2025-26)選考試験	ホテル青森
		23日(土)～27日(火)	ポリオワクチン接種活動	パキスタン・カラチ
	12月	1 日(日)	西第2グループIM	ラグリー
			第14回 全国青少年交換委員長会議	ハイブリッド開催
		2 日(月)	ガバナー指名委員会	ホテル青森
		7 日(土)～8 日(日)	第3回RLI委員会、RLIファシリテーター研修会	はまなす会館
		11日(火)	Heal the Worldチャリティーディナー	横浜グランドインター コンチネンタルホテル
		12日(木)～15日(日)	第53回ロータリー研究会ならびに付随プログラム	パシフィコ横浜、横浜ロイヤル パークホテルほか
		21日(土)	第2回財団セミナー	ホテル青森

開催年月日			行 事 名	開催場所
2024	12月	22日(日)	米山奨学生面接選考試験	アスパム
			第2回地区リーダー向けセミナー	ハイブリッド開催
		22日(水)～29日(日)	アクトの翼 ※12/25出発、12/29帰着	台湾・台北市及び 宜蘭県羅東地区
2025	1月	18日(土)	映画「じょっぱり-看護の人花田ミキ」無料上映会	弘前市民文化交流館ホール
		19日(日)	映画「じょっぱり-看護の人花田ミキ」無料上映会	八戸市公民館ホール
			第2回諮問委員会、ガバナーエレクト社行会	ホテル青森
		20日(月)～24日(金)	グローバル補助金事業視察	タイ・ナクホンシータマラート県
		26日(日)	第8回全国地区RA委員長ならびに地区RA代表合同会議	ハイブリッド開催
		26日(日)～28日(火)	多地区合同ウィンターキャンプ for インバウンド(青少年交換)	蔵王ライザワールド
	2月	2日(日)	第1回全国IA委員長会議	ハイブリッド開催
		8日(土)	職業奉仕フォーラム	八戸パークホテル
		9日(日)～13日(木)	ガバナーエレクト国際協議会	米国フロリダ州オーランド
		22日(土)	南グループIM	八戸プラザホテル アーバンホール
		23日(日)	諮問委員会(米谷GE国際協議会報告)	ホテル青森
			第4回RLI委員会、RLIファシリテーター研修会・懇親会	カクヒログループ スーパーアリーナほか
	3月	1日(土)	米山奨学生 修了証書授与式	ホテル青森
		2日(日)	地区チームラーニングセミナー	リンクステーションホール／ ホテル青森
		8日(土)	グローバル補助金奨学生面接	ホテル青森
		9日(日)	第4回全国RYLA運営委員会及び地区RYLA委員長合同会議	ハイブリッド開催
		22日(土)～23日(日)	会長エレクト研修セミナー	リンクステーションホール／ ホテル青森
		22日(土)～24日(月)	東北多地区合同スプリングキャンプ(青少年交換)	母畑温泉 八幡屋(福島県)
		29日(土)	中グループIM	ホテル青森
	4月	5日(土)	十和田RC創立65周年	サン・ロイヤルとわだ
		12日(土)	十和田東RC創立60周年	サン・ロイヤルとわだ
		13日(日)	米山奨学生・カウンセラーオリエンテーション	飯)ホテル青森
		17日(木)～18日(金)	クラブ活性化セミナー2025	JPタワー ホール&カンファ レンス(予定)
		19日(土)	八戸南RC創立50周年	八戸パークホテル
		26日(土)	地区クラブ活性化ワークショップ	ホテルサンルート五所川原
		26日(土)～27日(日)	第12回全国インターアクト研究会・長野会議	ホテルブエナビスタ
	5月	10日(土)	地区研修協議会	リンクステーションホール／ ホテル青森
		10日(土)～11日(日)	第17回全国RYLA研究会 広島会議	安芸グランドホテル
		17日(土)	米山奨学生卓話講習会	ホテル青森
		24日(土)	地区インターアクト年次大会	りんご公園(弘前市)
		24日(土)～25日(日)	2024-25年度 RLI	はまなす会館
		31日(土)	第9回 日台ロータリー親善会議 札幌大会	グランドメルキュール札幌 大通公園
	6月	7日(土)～8日(日)	第28回日本青少年交換研究会 青森会議	リンクステーションホール 青 森ほか
		14日(土)	東第1・2グループIM	サン・ロイヤルとわだ
		14日(土)～15日(日)	RYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)	青森公立大学
		21日(土)～25日(水)	国際大会	カナダ・カルガリー

2024-25 年度 ロータリー財団地区補助金プロジェクト一覧

クラブ名	プロジェクト名	活動内容	申請額 (円)	決定送金 (円)	支出額
む つ	むつ市庁舎桜並木周辺 環境整備工事	ロータリークラブ創立 50 周年記念事業で「桜」並木を植樹しましたが、12 年間植えっぱなしで並木が衰退している。そこで剪定と肥料の散布、草刈りを行い桜咲く並木を復活させたいと思います。	176,000	101,000	101,000
野 辺 地	第 27 回 野辺地ロータリー クラブ読書感想文コンクール	野辺地町内の 2 つの小学校（野辺地小学校、若葉小学校）と野辺地中学校の全生徒に呼び掛けて、夏休みを利用し読書をしてもらい、感想文を募集し、さらに審査を行い、優れた作品を表彰する。	250,000	148,000	148,000
七 戸	第 23 回鷹山賞児童作品展	七戸ロータリークラブ賞の授与	50,000	45,000	45,000
東 北	小川原湖クリアウォーター リバイバル	町内の全 12 保育所の園児を対象とする「小川原湖を中心とした水環境保全」に関する学習機会の提供	100,000	55,000	55,000
む つ 中 央	稚魚放流	幼稚園児とヤマメの稚魚を放流致します。	70,000	64,000	64,000
六 ケ 所	第 18 回 六ヶ所ロータリー クラブ杯 学童軟式野球大会	六ヶ所村及び近隣市町村の小学生野球クラブの野球大会	60,000	55,000	55,000
三 沢	“ボッチャ” 交流会	前年度地区補助金事業にて、児童館にボッチャを寄贈した。今年度はボッチャを通して、交流会を開き、子どもたちの育成に寄与し、親と地域住民との交流にも広げ、「少子高齢化が進む地域の絆づくり」に繋げたい	150,000	83,000	0
十 和 田	第 1 回十和田ロータリー U11 ミニバスケット交流会 2024	十和田ロータリークラブの名前も知らない子どもたち、保護者、地域の皆さんにロータリークラブの団体はどんな活動をしているのかを知っていただく機会にしたいと考えています。そのためにミニバスケットを通じて児童の皆さんに触れ合う場を提供し、次世代の子供たちと交流していきたいと思います。そして、興味を持ってもらうことにより様々な活動に繋いで事業を継続していきたいと考えています。	200,000	111,000	111,000
十 和 田 東	第 12 回 とわだ面接セミナー支援	就職活動直前の地元の高校生に対し、模擬面接を行う。	225,000	204,000	204,000
お い ら せ	RI テーマ旗を再利用した エコバック製作と障がい者の 就労支援事業	障がい者の就労支援事業として製作するエコバックの製作費の半分を補助する	50,000	45,000	45,000
三 沢 東	しごと——い協賛事業	参加者の小学生 100 名とその保護者に「ポリオについて調べてみる」「水について調べてみる」仕事を体験してもらい、ポリオと水事業を知ってもらう活動をする。	120,000	120,000	120,000
十 和 田 八 甲	第 13 回十和田八甲ロータ リークラブ杯 青森県少年 ラグビーフットボール大会	本大会は、ミニ・ラグビーの普及発展を促進し、小学生にラグビーフットボールに対する正しい理解と競技の楽しさを体験させるとともに、中学・高校に繋がるよう競技力の向上を目指す、また、大会を通じて相互の交流を深め、青少年の健全育成に資する。	200,000	186,000	186,000
五 所 川 原	第 9 回 五所川原ロータリー クラブ杯 幼年サッカー大会	地域の子供たちの心身における健康づくりを目的とした、幼年サッカー大会の開催	241,515	223,000	223,000
金 木	金木小学校三味線クラブ応援 事業（津軽三味線発祥の地）	全国の小学校でただ一校の三味線部を応援、生徒たちには誇りを持ってもらう。	110,000	64,000	64,000
鶴 田	非常搬送用車いす	災害時における高齢者及び障害者の避難場所において 2 階以上へ移動させるための補助具の寄贈	100,000	64,000	64,000
五所川原中央	脳の健康チェック ～五所川原生きがい活動～	高齢者の認知症防止のために脳の健康チェックとしてタッチパネルを使った脳活バランスを測定します。検査の後は心を癒してもらう目的で濃茶を振る舞うコーナーを設けます。	150,000	83,000	83,000
つ が る	つがる市縄文遺跡群への 野外ベンチ設置	つがる市の縄文遺跡群への野外ベンチ設置	110,000	64,000	64,000

クラブ名	プロジェクト名	活動内容	申請額 (円)	決定送金 (円)	支出額
五所川原 イヴニング	わたしたちのいのちの源 『海』を守ろう～ビーチ クリーン活動 in 出来島	(1)ビーチクリーン活動海岸での清掃活動を行う。 (2)自然環境の重要性に関する教育的活動海の環境 保全を行うこと(海が生き物の生活を育んでくれて いる)の重要性について学ぶ。海の恩恵を実際に肌 で感じたり、飲食することによって知ることがで きる。	70,000	64,000	64,000
弘 前	交通事故から市民を守る 交通安全プロジェクト	市民の通行における安全を図ることを目的として、 歩行者が横断歩道を渡るときの安全誘導をお手伝 いする黄色い「横断旗」を寄贈。	200,000	158,000	158,000
弘 前 東	国立病院機構弘前総合医療 センターへ車いす寄贈プロ ジェクト	令和4年に弘前市立病院との再編により、新中核 病院として「国立病院機構弘前総合医療センター」 が開始された。地域医療支援病院として津軽地域 の医療の中心的な役割を担う総合医療センターに 対し、当クラブでも地域の一員として支援したい と車いすを寄贈することにした。	120,000	73,000	72,008
弘 前 東 (弘前東桜華 R 衛星クラブ)	人間と動物が共生できる街 の実現～保護猫活動支援～	弘前保護猫活動連絡協議会に対し、キャットフー ドやゲージなどの寄贈。	50,000	45,000	45,000
弘 前	交通事故から市民を守る 交通安全プロジェクト	市民の通行における安全を図ることを目的として、 歩行者が横断歩道を渡るときの安全誘導をお手伝 いする黄色い「横断旗」を寄贈。	200,000	158,000	158,000
黒 石	みどりを植樹し地球を豊かに	たくさんの人が集まる黒石市東公園に花桃を植樹 することによって、訪れた多世代の方々が豊かに 過ごせるよう、公園の緑化・美化活動に取り組ん でいます。今年も40本目となる植樹を美郷こども 園の園児たちと共に行い、自分たちの未来のため に地球を豊かにしていくことを伝えていきたいと 思います。	200,000	111,000	111,000
弘 前 西	子どもたちを危険から守る 事業『交通安全指導用横断 旗の寄贈』	弘前市内の全小中学校 32 校へ交通安全指導用横断旗 を 10 本ずつ寄贈する	270,900	158,000	158,000
弘 前 ア ッ プ ル	通級指導教室中心の高校生の 居場所づくり「居場所カ フェ」実施の支援	通級受講生徒を中心に定期的に校内でカフェを実 施し軽食やお菓子を提供する。(軌道に乗るまで年 4～5回を想定し、年間分の支援をする)	91,635	83,000	83,000
青 森	青森駅前ビーチ清掃活動	駅前ビーチ清掃活動、「青森製ひば6m物ベンチ」 設置・寄贈	300,000	279,000	279,000
青 森 北 東	特養「寿幸園」を訪問 冬支度の支援活動	園庭の樹木の雪囲いと入居者のお部屋の外窓拭き	80,000	73,000	73,000
青 森 モーニング	青森市内小学校と米国メイ ン州との第7回小学生版画 交流作品展	小学生の版画普及と版画を通じて米国メイン州と の国際交流によって、相互の異文化理解に寄与し たい。過去6回実施の版画交流作品展を更に拡大 し、市民に認知を図る。	200,000	120,000	120,000
八 戸	みんなで中心街を盛り上げ よう！八戸七夕まつり飾り 製作参加プロジェクト	大きな百貨店の閉店、空き店舗の増加にともない 八戸市の中心街活性化が近年課題となっている。 毎年中心街で開催されている歴史あるお祭り「八 戸七夕まつり」も今年からの七夕飾りを市民んが 作る参加型のまつりへ変化することとなり、複数 の支援施設の皆様とともに七夕飾りの製作に参加 する。地元のお祭りに関わることの楽しさ。参加 者地震の活力、スキルなどの獲得などとともに八 戸市の一員として中心街活性化への協力にもつな げる。	260,000	186,000	186,000
八 戸 東	八戸海洋少年団活動用具事業 リュック寄贈	海洋少年団の児童が、団員としての意識統一を図 り、海洋事業を活動する際に用具入れと有効活用 する事が出来る。	346,500	195,000	195,000

クラブ名	プロジェクト名	活動内容	申請額 (円)	決定送金 (円)	支出額
三 戸	第 69 回北奥羽少年剣道大会	青少年奉仕委員会「青少年育成小委員会」の活動として大会運営を支援する。	200,000	148,000	148,000
五 戸	剣誠旗高等学校剣道大会に対する共催及び支援及び五戸町手話言語条例祝賀行事に対する支援	手話言語条例祝賀行事に対する支援	346,500	195,000	195,000
南 部	名川中学校 思い出作り作戦及び環境整備事業手話言語条例祝賀行事に対する支援	名川中学校にて各イベントの記録を動画、写真等で撮影し、学校関係者及び保護者、地域の住民へ回覧し学校の行事を伝えるためにビデオカメラを寄付すると同時に校内の美観活動に参加しロータリーの活動を PR する	80,000	73,000	73,000
八 戸 北	こども食堂支援事業	地域の生活困窮家庭に生活の必需品であるお米などの食料を、こども宅食おすわけ便、又はフードパントリー活動で使用するお米を寄贈するとともにクラブ会員が配布活動やフードバンク事業に参加し、活動を通じて地域における課題解消の一助となることを目指す。22-23 年度に実施を始め、後方支援、商品が大変喜ばれ、23-24 年度に引き続き取り組みを実施します。今年度で 3 年度となり終了予定です。	200,000	186,000	186,000
八 戸 南	第 31 回 よろず相談	市民の悩みを聞き、当クラブのロータリアンが各分野の専門的な職業を活かし、健康、家庭、法律問題など、日頃の生活で困っていることや悩んでいること、疑問に思っていることなどに親身になって相談にのり、問題解決に向けてのアドバイスをを行う。	264,550	242,000	242,000
八 戸 中 央	万引き・いじめ防止キャンペーン	万引き防止・いじめをしないという意味での発信	150,150	139,000	139,000
八 戸 西	高校生寮の安心、安全を守り、地域貢献を図る	高校生寮へ防犯カメラを導入することにより、安心、安全な寮生活を送ることを目的とする。そして、ロータリークラブと高校、インターアクトクラブを通じて、地域に根差したクラブ活動、奉仕活動を行っていく。	130,350	73,000	73,000
八 戸 南	佐藤和美さんへの奨学金支給 (留学先：イギリス シェフィールド大学)	奨学金の支給	440,000	440,000	440,000
合 計			6,246,600	4,606,008	4,690,000

2024-25 年度 ロータリー財団寄付状況

(単位：ドル)

	クラブ名	6/30 会員数	年次基金	その他の基金 (ポリオプラスを含む)	恒久基金	合 計	1 人平均
東第1グループ	む つ	50	2,178.95	476.53	0.00	2,655.48	53.11
	野 辺 地	14	1,992.96	466.38	0.00	2,459.34	175.67
	七 戸	13	750.00	50.00	0.00	800.00	61.54
	東 北	16	1,350.00	0.00	0.00	1,350.00	84.38
	む つ 中 央	19	210.00	66.67	0.00	276.67	14.56
	六 ケ 所	36	14,390.00	207.00	0.00	14,597.00	405.47
東第2グループ	三 沢	21	809.83	208.33	0.00	1,018.16	48.48
	十 和 田	33	1,182.11	120.09	0.00	1,302.20	39.46
	十 和 田 東	28	3,315.89	910.00	280.00	4,505.89	160.92
	お い ら せ	6	200.00	0.00	0.00	200.00	33.33
	三 沢 東	36	2,636.67	492.80	0.00	3,129.47	86.93
	十 和 田 八 甲	80	7,303.77	2,338.61	0.00	9,642.38	120.53
西第1グループ	五 所 川 原	60	6,553.94	3,067.42	0.00	9,621.36	160.36
	金 木	12	500.00	0.00	0.00	500.00	41.67
	鰻 ケ 沢	16	240.00	80.00	0.00	320.00	20.00
	鶴 田	8	833.35	218.33	0.00	1,051.68	131.46
	五 所 川 原 中 央	24	3,170.14	250.00	0.00	3,420.14	142.51
	つ が る	34	351.39	531.39	0.00	882.78	25.96
西第2グループ	五所川原イヴニング	25	1,533.34	242.66	0.00	1,776.00	71.04
	弘 前	50	3,533.43	845.77	171.31	4,550.51	91.01
	弘 前 東	9	375.71	32.20	0.00	407.91	45.32
	板 柳	8	200.01	0.00	0.00	200.01	25.00
	黒 石	23	750.00	0.00	0.00	750.00	32.61
	大 鰐	9	105.63	0.00	105.63	211.26	23.47
	弘 前 西	29	974.25	552.20	0.00	1,526.45	52.64
	平 賀・ 尾 上	9	259.76	0.00	0.00	259.76	28.86
中グループ	弘 前 ア ッ プ ル	15	2,000.73	328.31	0.00	2,329.04	155.27
	青 森	104	9,312.25	3,083.96	31,000.00	43,396.21	417.27
	青 森 北 東	20	1,144.61	450.00	0.00	1,594.61	79.73
	青 森 中 央	6	550.00	0.00	0.00	550.00	91.67
南グループ	青森モーニング	20	4,111.40	748.77	0.00	4,860.17	243.01
	八 戸	63	3,183.28	478.15	0.00	3,661.43	58.12
	八 戸 東	46	4,696.08	1,254.68	0.00	5,950.76	129.36
	三 戸	7	1,350.00	270.00	0.00	1,620.00	231.43
	五 戸	12	700.00	240.00	0.00	940.00	78.33
	南 部	9	910.00	180.00	0.00	1,090.00	121.11
	八 戸 北	38	7,499.35	280.52	1,773.18	9,553.05	251.40
	八 戸 南	39	4,773.25	940.00	10,000.00	15,713.25	402.90
	八 戸 中 央	11	1,641.19	152.78	0.00	1,793.97	163.09
	八 戸 西	34	2,909.57	900.84	0.00	3,810.41	112.07
	地 区		0	5971.03	0	5,971.03	
合 計		1092	100,482.84	26,435.42	43,330.12	170,248.38	

2024-25 年度 米山記念奨学会寄付状況

(単位：円)

	クラブ名	会員数 (6月末)	今年度 普通単価	2024/7月～25/6月			一人当たり 平均寄付	累計寄付額
				普通寄付金	特別寄付金	合計		
東第1グループ	む つ	50	2,000	102,000	84,000	186,000	3,720	10,700,142
	野 辺 地	14	3,000	39,000	306,000	345,000	24,643	8,166,667
	七 戸	13	3,000	36,000	110,000	146,000	11,231	9,101,100
	東 北	16	3,000	48,000	10,000	58,000	3,625	2,157,100
	む つ 中 央	19	2,000	40,000	21,000	61,000	3,211	3,754,314
	六 ケ 所	36	3,000	96,000	0	96,000	2,667	2,359,500
東第2グループ	三 沢	21	3,000	69,000	0	69,000	3,286	13,039,590
	十 和 田	33	5,000	170,000	0	170,000	5,152	9,455,308
	十 和 田 東	28	3,000	79,500	530,000	609,500	21,768	10,891,517
	お い ら せ	6	3,000	18,000	20,000	38,000	6,333	4,772,810
	三 沢 東	36	3,000	103,500	0	103,500	2,875	3,397,700
	十 和 田 八 甲	80	2,000	164,000	168,000	332,000	4,150	5,673,699
西第1グループ	五 所 川 原	60	3,000	165,000	537,500	702,500	11,708	19,400,150
	金 木	12	3,000	36,000	10,000	46,000	3,833	3,598,190
	鰻 ケ 沢	16	3,000	49,500	10,000	59,500	3,719	3,891,110
	鶴 田	8	2,000	16,000	0	16,000	2,000	2,598,112
	五 所 川 原 中 央	24	3,000	73,500	178,500	252,000	10,500	13,289,157
	つ が る	34	2,000	68,000	34,000	102,000	3,000	2,648,500
西第2グループ	五所川原イヴニング	25	3,000	75,000	94,500	169,500	6,780	4,198,500
	弘 前	50	3,000	145,500	469,500	615,000	12,300	30,090,116
	弘 前 東	9	2,000	23,000	47,000	70,000	7,778	5,708,450
	板 柳	8	3,000	30,000	10,000	40,000	5,000	4,593,550
	黒 石	23	3,000	64,500	10,852	75,352	3,276	3,842,898
	大 鰐	9	3,000	27,000	0	27,000	3,000	2,089,194
	弘 前 西	29	3,000	94,500	120,000	214,500	7,397	11,146,750
	平 賀・ 尾 上	9	4,000	36,000	0	36,000	4,000	781,000
中グループ	弘 前 ア ッ プ ル	15	3,000	45,000	209,500	254,500	16,967	3,970,400
	青 森	104	3,000	318,000	1,363,000	1,681,000	16,163	36,017,400
	青 森 北 東	20	3,000	66,000	227,000	293,000	14,650	29,862,111
	青 森 中 央	6	3,000	18,000	40,000	58,000	9,667	9,687,613
南グループ	青森モーニング	20	3,000	60,000	149,000	209,000	10,450	5,935,100
	八 戸	63	3,000	195,000	335,000	530,000	8,413	51,343,400
	八 戸 東	46	3,000	139,500	350,000	489,500	10,641	24,077,800
	三 戸	7	5,000	45,000	0	45,000	6,429	6,267,700
	五 戸	12	1,000	12,000	10,000	22,000	1,833	3,361,350
	南 部	9	3,000	27,000	0	27,000	3,000	2,655,350
	八 戸 北	38	3,000	114,000	249,000	363,000	9,553	10,170,190
	八 戸 南	39	3,000	120,000	1,060,000	1,180,000	30,256	25,103,240
	八 戸 中 央	11	3,000	57,000	110,000	167,000	15,182	10,938,089
	八 戸 西	34	3,000	100,500	124,000	224,500	6,603	1,307,500
	2830 その他							32,510,527
		1,092	109,000	3,185,500	6,997,352	10,182,852		444,552,894

2024-25 年度 国際平和資金献金状況

(単位: 円)

	クラブ名	6/30 会員数	上 期	下 期	合 計	一人当たりの金額
東第1グループ	む つ	50		10,000	10,000	200
	野 辺 地	14		18,819	18,819	1,344
	七 戸	13		20,779	20,779	1,598
	東 北	16	28,600	11,800	40,400	2,525
	む つ 中 央	19		10,000	10,000	526
	六 ケ 所	36			0	0
東第2グループ	三 沢	21	18,021	10,775	28,796	1,371
	十 和 田	33		100,000	100,000	3,030
	十 和 田 東	28	10,000		10,000	357
	お い ら せ	6		10,000	10,000	1,667
	三 沢 東	36	23,848	17,824	41,672	1,158
	十 和 田 八 甲	80			0	0
西第1グループ	五 所 川 原	60			0	0
	金 木	12			0	0
	鰻 ケ 沢	16			0	0
	鶴 田	8			0	0
	五 所 川 原 中 央	24			0	0
	つ が る	34	10,000	10,000	20,000	588
	五所川原イヴニング	25			0	0
西第2グループ	弘 前	50		17,104	17,104	342
	弘 前 東	9		4,621	4,621	513
	板 柳	8	10,000	10,000	20,000	2,500
	黒 石	23	3,714	5,025	8,739	380
	大 鰐	9			0	0
	弘 前 西	29		22,000	22,000	759
	平 賀 ・ 尾 上	9			0	0
	弘 前 ア ッ プ ル	15			0	0
中グループ	青 森	104	42,845	45,593	88,438	850
	青 森 北 東	20	15,000	15,000	30,000	1,500
	青 森 中 央	6	5,000	4,000	9,000	1,500
	青 森 モ ー ニ ン グ	20	2,610	2,901	5,511	276
南グループ	八 戸	63		57,773	57,773	917
	八 戸 東	46		70,500	70,500	1,533
	三 戸	7	13,500	13,500	27,000	3,857
	五 戸	12	6,000	6,000	12,000	1,000
	南 部	9			0	0
	八 戸 北	38		2,302	2,302	61
	八 戸 南	39	9,260	7,611	16,871	433
	八 戸 中 央	11		17,802	17,802	1,618
	八 戸 西	34			0	0
合 計		1,092	198,398	521,729	720,127	

2024-25 年度 災 害 支 援 金

(単位：円)

	クラブ名	令和 6 年能登半島地震	大船渡山林火災	ミャンマー地震
東第1グループ	む つ	100,000	50,000	10,000
	むつ大畑衛星クラブ			
	野 辺 地	10,000	10,000	10,000
	七 戸	24,000	13,000	14,000
	東 北	16,000	16,000	16,000
	む つ 中 央	20,000	50,000	30,000
	六 ケ 所	38,000	38,000	38,000
東第2グループ	三 沢			
	十 和 田			
	十 和 田 東	81,000	30,000	30,000
	お い ら せ	10,000	10,000	
	三 沢 東	35,000	35,000	35,000
	十 和 田 八 甲	49,254	40,000	32,500
西第1グループ	五 所 川 原	57,000	58,000	
	金 木			3,000
	鰻 ケ 沢	20,000	20,000	
	鶴 田	8,000	8,000	
	五 所 川 原 中 央			
	つ が る	27,000	33,000	34,000
	五所川原イヴニング	25,000	25,000	25,000
西第2グループ	弘 前	30,000	30,000	30,000
	弘 前 東		6,000	
	板 柳	10,000	10,000	10,000
	黒 石	10,000		10,000
	大 鰐			
	弘 前 西	16,000	10,000	
	平 賀 ・ 尾 上			
	弘 前 ア ッ プ ル		15,000	16,000
中グループ	青 森	24,374	54,443	21,740
	青 森 北 東	10,000	12,000	
	青 森 中 央	6,000	6,000	6,000
	青 森 モ ー ニ ン グ	7,000	3,450	1,500
南グループ	八 戸	34,000	50,000	33,000
	八 戸 東	50,000	32,581	30,000
	三 戸	9,000	9,000	9,000
	五 戸	12,000	12,000	12,000
	南 部	10,000		9,000
	八 戸 北	56,000	38,000	10,000
	八 戸 南	32,000	32,000	32,000
	八戸南さくらイトR衛星クラブ		12,000	
	八 戸 中 央		18,000	18,000
	八 戸 西	34,000	68,000	"34,000
合 計		870,628	854,474	559,740
2830 地区（国際平和基金）		129,372	145,526	440,260

2024-25 年度 会員数並びに出席率

	R	C	2024年 6月30日 会員数	入会者数 累計	退会者数 累計	増減	2025年 6月30日 会員数	内女性 会員数	年間平均 出席率(%)
東第1グループ	む	つ	50	4	4	0	50	3	96.08
	野	辺 地	13	1	0	1	14	3	85.36
	七	戸	11	3	1	2	13	2	74.69
	東	北	16	0	0	0	16	2	73.96
	む	つ 中 央	20	1	2	-1	19	0	62.25
	六	ヶ 所	32	9	5	4	36	1	73.75
東第2グループ	三	沢	23	1	3	-2	21	1	62.00
	十	和 田	34	1	2	-1	33	9	86.58
	十	和 田 東	25	5	2	3	28	5	50.85
	お	い ら せ	6	1	1	0	6	0	75.83
	三	沢 東	34	2	0	2	36	4	67.45
	十	和 田 八 甲	80	7	7	0	80	1	63.66
西第1グループ	五	所 川 原	52	8	0	8	60	7	63.93
	金	木	12	0	0	0	12	1	76.75
	鯉	ヶ 沢	16	1	1	0	16	2	70.07
	鶴	田	8	0	0	0	8	1	73.44
	五	所 川 原 中 央	25	0	1	-1	24	2	53.17
	つ	が る	30	6	2	4	34	0	68.40
西第2グループ	五所川原イヴニング		25	0	0	0	25	7	49.33
	弘	前	45	11	6	5	50	5	82.04
	弘	前 東	13	3	7	-4	9	5	82.75
	板	柳	10	2	4	-2	8	2	82.92
	黒	石	20	3	0	3	23	3	72.25
	大	鰐	9	0	0	0	9	0	61.33
	弘	前 西	30	3	4	-1	29	5	100.00
	平 賀・尾 上		9	0	0	0	9	0	34.21
中グループ	弘 前 ア ッ プ ル		16	0	1	-1	15	2	83.33
	青	森	105	16	17	-1	104	10	62.90
	青	森 北 東	22	0	2	-2	20	3	83.45
	青	森 中 央	6	0	0	0	6	1	100.00
南グループ	青 森 モ ー ニ ング		21	4	5	-1	20	4	69.27
	八	戸	65	5	7	-2	63	0	70.16
	八	戸 東	46	3	3	0	46	1	100.00
	三	戸	9	0	2	-2	7	1	96.44
	五	戸	12	0	0	0	12	1	84.23
	南	部	9	0	0	0	9	0	72.64
	八	戸 北	38	1	1	0	38	7	61.34
	八	戸 南	39	9	9	0	39	11	79.07
	八	戸 中 央	20	0	9	-9	11	3	50.83
	八	戸 西	33	2	1	1	34	20	54.44
合 計			1,089	112	109	3	1,092	135	

期首会員数は2024年6月末会員数です

2024-25 年度 各 種 表 彰

R I 表彰

クラブ優秀賞

青森モーニング R C	青森 R C
五所川原中央 R C	五所川原 R C
八戸東 R C	八戸南 R C
弘前西 R C	野辺地 R C
六ヶ所 R C	十和田八甲 R C

地区表彰

奉仕活動優秀クラブ

ガバナー補佐推薦

推薦クラブ	推 薦 理 由
六ヶ所 R C	2024-25年度だけでも、8月24日～25日たのしむベ フェスタ出店、10月梵天山清掃登山、RRC杯少年野 球大会他、チャリティーゴルフ大会、交換留学生受 入、東北・七戸・野辺地RCとの4C合同夜例会と東 第1グループ内では最も活発な活動をされました。
三沢東 R C	事業名 「しごとーいみさわ」 本事業は地区補助金を活用し、県内外の小学生達 を対象に楽しく経済活動を学ぶ事業です。 当日はロータ君も参加し、職業毎に設置されたブ ースの中には三沢東ロータリークラブのブースもあ り、子供達がポリオを学び周知する姿も見られまし た。本事業に加え毎月の清掃作業等、公共イメ ージの向上や社会奉仕活動に対し積極的な取り組みを 行っていることから奉仕活動優秀クラブに推薦致し ます。
鯉ヶ沢 R C	世界自然遺産白神山道へ続く「白神の森遊山道」 の散策路にウッドチップを敷き詰め、入山者の方の 安全と遊山道の保守及び維持管理の奉仕活動を行 いました。 県内で唯一の世界自然遺産に接する鯉ヶ沢ロータ リークラブならではの取り組みであり、このような 奉仕活動を行うことによって全国又世界から観光客 を呼び寄せ、地域活性化へもつながると考えます。
五所川原 イブニング R C	事業名 「わたしたちのいのちの源『海』を守ろう ～ビーチクリーン活動 i n 出来島」 子供からお年寄りまでが集い、地域住民を巻き込 みながらロータリークラブとしてリーダーシップを 発揮していました。また、ゴミ拾いという事後の活 動に加え、自然環境保全の重要性の講話又、ヨガ講 師の指導の下、心と体の予防的活動も一体的に行っ た点が評価できるものです。
青森 R C	青森港開港400年を迎える青森市のシンボリックな 存在となった、青森駅前ビーチへのベンチ寄贈並び にビーチの清掃活動を実施しました。また、青森大 空襲で多くの市民が亡くなり平和への願いを込めて 建立された平和母子像・平和記念像の清掃活動を他 団体と協力し実施することで、ロータリークラブの 存在を大いに知らしめました。

三戸 R C

三戸RCは青少年交換の元派遣学生及び受入学生と
の交流を密に図っており、今年度は元受入学生であ
るショーン・オサリバン氏を迎え、三戸地区のあら
ゆる団体と連携し交流を深めました。このことはメ
ディアにも取り上げられ、ロータリーによる青少年
交換活動を知る機会となっています。

奉仕活動優秀ロータリアン

ガバナー補佐推薦

推薦者	推 薦 理 由
シバタ フミヒコ 柴田 文彦 (むつ中央RC)	7月31日にむつ中央RCでは、ヤマメ稚魚放流事業 がありましたが、柴田会長が率先して解決に乗り出 して下さったほか、経験不足なこのガバナー補佐を 様々な形で助けてくれました。また、地区国際奉仕 委員長として、青少年交換やアクトの翼等の事業を 積極的に推進してくれました。
スギヤマ シゲオ 杉山 茂夫 (おいらせRC)	クラブの所属人数が減少・高齢化する中において、 長年にわたり幹事としてクラブ運営を支え、また地 区補助金を活用して使用されなくなったロータリー 関連の旗をエコバッグとして再利用する事業の中心 的な存在であり、地元の自然公園の保護・維持活動 にも積極的に参加・推進していること等、非常にロー タリーを理解し活動していることで奉仕活動優秀 ロータリアンとして推薦致します。
サトウ アキラ 佐藤 晃 (八戸東RC)	八戸東RC会長としてリーダーシップを発揮し、八 戸市で開催された「ネット・ゼロ移行に向けたマル チステークホルダー・ワークショップ」の活動に積 極的に関わりました。また、クラブ内にとどまらず、 南グループの合同例会、ゴルフ大会などの企画にも 積極的に活動し、グループ内の親睦に貢献しました。 また、アクトの翼の引率者の一人として台湾に同行 し、現地クラブとの親睦や、参加したインターアク ターと積極的な交流を行いました。

奉仕活動優秀ロータリアン

クラブ推薦

氏 名	推 薦 理 由
ナカジマ マサヒロ 中嶋 正博 (六ヶ所RC)	ポリオワクチンの為のペットキャップ収集及びポリオ周知に尽力しました。クラブ内にて積極的にキャップ収集の声掛けをしました。また、村内の花火大会においてポリオ周知とキャップ収集を実施しました。地区よりロータくん着ぐるみを借り、家族連れや子供を中心に分かりやすくポリオをアピールしました。
ノガミ トモアキ 野上 友明 (五所川原RC)	2024年8月31日に五所川原市つがる克雪ドームにて幼年サッカー大会を開催し、同時にポリオ撲滅募金活動、更に児童書リユース活動と3つの事業を同時に運営し委員長としてリーダーシップを発揮した功績は見事で地域に多大なる貢献をしました。
コバヤシ ヒロマサ 小林 大真 (弘前RC)	第57回インターアクト年次大会の実行委員長として尽力いただきました。 2024-25年度の年次大会は、明日を担うインターアクトに未来の青森県について考えて欲しいと、宮下宗一郎知事をお迎えし、インターアクトとの座談会を企画しました。一人一人が青森県の将来をどのようにしていきたいのかを考える良い機会を与えたと共に、年次大会を成功裏に導いていただきました。
クドウ タカコ 工藤 孝子 (弘前東RC)	クラブ内での会員増強に積極的に取り組んでおり、その結果、クラブの活動がさらに活性化し、クラブ内での影響力が広がりました。会員増強のための戦略的なアプローチと献身的な努力は、弘前東ロータリークラブの未来を支える重要な要素となっています。 また、地域への奉仕活動に積極的に取り組んでこられました。特に、2024-25年度地区補助金事業、「車椅子寄贈事業」においては、地域の福祉向上に寄与する実施に尽力し、多くの方々に実質的な支援を届けることができました。 さらには、ガバナー補佐を就任されていたIMでは、ミャンマーの医療支援に尽力される名知仁子様(ファミリー・クリニックと菜園の会代表理事・医師)をお迎えし、「ミャンマーの現状と未来を考える」講演会を企画。国際医療の重要性を広め、多くの人々の意識を高めることができたと思っております。 これらの取り組みは、ロータリークラブの奉仕活動の本質を体現しており、彼女の情熱とリーダーシップは、地域社会に多大なる影響を与えています。以上の理由により推薦いたします。
ミウラ モトイ 三浦 基 (青森RC)	三浦基会員は2024-25度クラブ強化副委員長、2830地区RYLA委員会委員長として活躍されました。 クラブ強化委員会ではこれまで活動歴の浅い委員長をサポートし、実質三浦会員が年間を通して企画、クラブ強化やファイヤーサイドミーティングを運営してきました。 ファイヤーサイドミーティングでは年間テーマを決め年間を通した統一感のある運営に努めました。テーマに沿った講話にはロータリーの源泉である寄金の仕組みと運用詳細を選択、毎回の講話はミーティング当日の話題となり会合を活発なものとしてきております。 特に突然の強化委員長逝去後も委員会活動を停滞させることなく実施、クラブへの貢献は大変高いものがありました。 また地区RYLA委員会では次期委員長候補をしっかり育て引き継ぎし、RYLA活動の充実に努め地区運営に大きく貢献もしております。
ナカムラ ヨウイチ 中村 洋一 (青森北東RC)	長い年月にわたって当クラブの奉仕プロジェクト委員長を務め、青森商業高校インターアクトクラブとの連携に尽力しました。2024-25年度は、当初予定した「八甲田ロープウェイ山頂駅周辺の外来植物除去」が、周辺地域でクマ出没のため断念せざるを得なくなりました。そのため急遽、交流があった高齢者福祉施設「寿幸園」(青森市高田地区)の園内植栽の冬囲いをインターアクトクラブと共同で実施しました。
ドバシ ノブユキ 土橋 伸行 (青森モーニングRC)	長年にわたりRI第2830地区が実施しているインド・パキスタンでのポリオワクチン接種活動に参加しています。また、地区のポリオプラス委員会として同活動の推進に大きく貢献してこられたことから推薦いたします。

氏 名	推 薦 理 由
ツルガイ トシエイ 鶴飼 寿栄 カミムラ トモキ 上村 奉樹 (八戸RC)	2024-25年度はクラブスローガンとして「学ぼう、つながろう、そして一歩前へ ～個人を磨くとクラブも輝く!! 再構築ロータリー～」という副題のもと、会員それぞれのロータリー活動としての再スタート、学び直しの年とさせていただきます。 「ロータリークラブとは?ロータリアンとは?」、その基本を学び直すために重要な要素が「経験値」であり、本来自分で積み上げるしかないものではありませんが、他の方々の経験を知ることが大切だと考え、歴史を積み上げてきた経験豊富な先輩会員の皆様から卓話を通じて勉強させていただこうと目標を立てました。 2024-25年度は未経験の委員会で経験を積んでもらおうという趣旨のもと、卓話のプログラムを組み立てるプログラム委員長になっていただいたのが上村さんです。経験値の豊富な会員から、ロータリークラブでの貴重な体験やロータリークラブについての想いをテーマに内部卓話を中心にプログラムを組み立てていただきました。 趣旨を丁寧に伝えながら卓話依頼をしても、普段はなかなか卓話をいただけない会員の方もいらっしゃったと思いますが、上村さんは卓話の時間やタイミングなど細かく調整をしながら粘り強く説得をし、結果、今年度は多くの会員の皆様から卓話をいただくことができました。またそれ以外の外部卓話や例年のプログラムなど最後までしっかりと調整していただきました。 また、鶴飼さんはSAAという例会プログラムの組み立てとあまり関連の無い立場ではありますが、例会とは別に「BIG IDM」という名称で30分～1時間あまりの講演会形式のIDMを企画していただきました。通常例会では卓話を受けていただけなかったご歴々の会員の方々にも、鶴飼さんが今までクラブ築き上げた関係性をもとに粘り強く説得をいただき、4名もの方々の貴重な話を聞く機会をいただきました。 クラブにおけるそれぞれの立場の違いはありながら、方針、主旨に沿って粘り強く働きかけたことなどの努力に対して、そしてその結果、貴重な機会を得られた事に対してこの二方にお礼と感謝をさせていただきます。
ミウラ タケヒロ 三浦 雄大 (八戸東RC)	2024-25年度当クラブのスローガン「奉仕の理念を实践しロータリーを楽しもう」を実現すべく親睦委員会委員長の役割を果たしました。納涼花火例会や家族レクリエーション例会ではカヌー体験を開催し家族間の親睦交流を図りました。クリスマス家族例会では家族やインターアクトの生徒の皆さんに楽しんでもらえるような企画をし大盛況に開催することが出来ました。また、本年度、初の試みで八戸海洋少年団主催の「八戸港カッターレース大会」に参加し、クラブのチームワーク強化と地域への宣伝活動を実施することが出来ました。三浦委員長率いる親睦委員会の功績で「ロータリーを楽しもう」を実現できたかと思えます。以上をもって推薦理由とさせていただきます。
ニシオ カスキ 西尾 和樹 (八戸南RC)	地区補助金委員長として活動する傍ら、クラブに於いてS・A・Aとして例会のスムーズな進行に注力しながら、クラブ会員増強委員長として他団体所属の新会員候補者リストの叩き台作成に尽力してくれた為推薦いたします。

会員増強優秀クラブ

純増5名以上または増加率10%以上対象

順位	クラブ名	増加率(%)	純増加数(名)	合計ポイント
1位	五所川原	15.4	8	23.4
2位	七戸	18.2	2	20.2
3位	黒石	15.0	3	18.0
4位	つがる	13.3	4	17.3
5位	六ヶ所	12.5	4	16.5
6位	弘前	11.1	5	16.1
7位	十和田東	12.0	3	15.0

出席成績優秀クラブ

●プラチナ賞 (例会月4回、95%以上)

クラブ名	出席率
八戸東 R C	100.00%
三戸 R C	96.44%

●ゴールド賞 (例会月3回以下、95%以上)

クラブ名	出席率
弘前西 R C	100.00%
青森中央 R C	100.00%
むつ R C	96.08%

●シルバー賞 (例会月4回、90～95%未満)

クラブ名	出席率
該当なし	

●ブロンズ賞 (例会月3回以下、90～95%未満)

クラブ名	出席率
該当なし	

広報活動優秀クラブ (週報の発行や地域社会で広報活動の優秀なクラブ)

クラブ名	推薦理由
板柳 R C	例会毎に週報を発行してSNSにもアップしている。Facebook、Instagram、X(旧Twitter)、Threadsの合計フォロワー数が1500名を超え、更新も頻繁に行っており、クラブの活動を積極的に発信して、ロータリーの公共イメージの向上に努めている。
五所川原 R C	例会毎に週報を発行している。Facebookページの更新を頻繁に行っており、フォロワー数を大きく伸ばしている。クラブの活動を積極的に発信して、ロータリーの公共イメージの向上に努めている。
五所川原中央 R C	Facebookページのフォロワー数が地区内クラブで最多の1,129名である(3/9現在)。例会の様子をFacebookページにアップしており、クラブの活動を積極的に発信して、ロータリーの公共イメージの向上に努めている。
野辺地 R C	Facebookページのフォロワー数が969名(3/9現在)と多く、その後もフォロワー数を伸ばしている。例会の様子をFacebookページにアップしており、クラブの活動を積極的に発信して、ロータリーの公共イメージの向上に努めている。

ロータリー財団寄付成績優秀クラブ

直近5年間の寄付平均額の増加したクラブ
(但し、地区目標を上まわっている)

順位	クラブ名
1位	青森モーニング R C
2位	三戸 R C

ロータリー財団寄付成績優秀ロータリアン

新ポールハリスフェロー

氏名	氏名
スギモト ヒデミチ 杉本 秀道 (むつ中央RC)	ニシザワ ヒデユキ 西澤 英之 (八戸東RC)
カマタ ヒデユキ 鎌田 秀幸 (十和田東RC)	オオダテ イッポウ 大館 一法 (八戸東RC)
ハタナカ ケンイチ 畑中 健一 (十和田八甲RC)	サトウ アキラ 佐藤 晃 (八戸東RC)
ナカグキ タカシ 中岫 崇 (十和田八甲RC)	チバ テツヤ 千葉 哲也 (八戸北RC)
ナリタ イチロウ 成田 一郎 (十和田八甲RC)	ミカミ ダイスケ 三上 大介 (八戸北RC)
ササキ トモアキ 佐々木智章 (十和田八甲RC)	デガイ ユウゴ 出貝 友吾 (八戸南RC)
サトウ ユウジ 佐藤 祐二 (十和田八甲RC)	フクダ ヤスオ 福田 弥夫 (八戸南RC)
コンドウ ヨウスケ 近藤 陽介 (五所川原RC)	ハシモト オサム 橋本 修 (八戸南RC)
クメタ ヤスカタ 桑田 泰孝 (黒石RC)	マツハシ ミツユキ 松橋 満幸 (八戸南RC)
カマダ シノブ 鎌田 忍 (青森RC)	ナカムラ トオル 中村 澄 (八戸南RC)
ヤマウチ カズキ 山内 一喜 (青森RC)	サクラダ ヤスノリ 櫻田 泰規 (八戸南RC)
エビナ ショウジ 蝦名 正治 (青森北東RC)	シモダ マサシ 下田 正志 (八戸南RC)
サイトウ コウエツ 齊藤 幸悦 (青森北東RC)	オオシマ ヤスマサ 大島 泰雅 (八戸西RC)
ウエノ ヒロユキ 上野 浩之 (青森北東RC)	ヘビグチ カズノリ 蛇口 和憲 (八戸西RC)
ヤマモト ヒトシ 山本 仁 (八戸RC)	

ロータリー財団寄付成績優秀ロータリアン

新メジャードナー

氏名
オカヤマ ノブヒロ 岡山 信広 (六ヶ所RC)

ロータリー財団寄付成績優秀ロータリアン

ベネファクター

氏名
該当なし

米山記念奨学会寄付成績優秀クラブ

直近5年間の寄付平均額の増加したクラブ
(但し、地区目標を上まわっている)

順位	クラブ名
1位	八戸南 R C

米山記念奨学会寄付成績優秀ロータリアン
新米山功労者

氏 名	氏 名
ミネ マサオ 峯 雅夫 (むつRC)	ミウラ モトイ 三浦 基 (青森RC)
タケシマ ナオキ 竹島 直樹 (十和田東RC)	ウエノ ヒロヨキ 上野 浩之 (青森北東RC)
フルウチ ヒデノリ 古内 秀典 (十和田東RC)	ホンドウ 本堂きみゑ (青森モーニングRC)
クドウ ジュンイチ 工藤 淳一 (十和田東RC)	タカヤ カツヨシ 高谷 勝義 (八戸RC)
イマイズミ セイイチ 今泉 成一 (十和田東RC)	イイダ カズオ 飯田 和雄 (八戸東RC)
モモノ タカシ 桃野 敬 (青森RC)	マキ イチロウ 槇 一郎 (八戸東RC)

国際平和資金寄付優秀クラブ

順位	クラブ名	1人当たりの寄付金額
1 位	三 戸 R C	3,857円
2 位	十 和 田 R C	3,030円
3 位	東 北 R C	2,525円
4 位	板 柳 R C	2,500円

長寿ロータリアン 満 80 歳

(2025 年 6 月末)

氏 名	生年月日
チ バ カズオ 千葉 和夫 (七戸RC)	昭和19年 7 月21日
ヤマザキリュウノスケ 山崎龍之祐 (六ヶ所RC)	昭和19年 8 月11日
オオサワ ジュインイツ 大澤 潤逸 (黒石RC)	昭和19年 7 月27日
アラヤ ショウゴ 荒谷 省吾 (青森RC)	昭和19年12月24日
スズキ ヨシカツ 鈴木 慶勝 (青森北東RC)	昭和20年 3 月 9 日
オカザキ カツヒロ 岡崎 勝弘 (青森中央RC)	昭和19年11月 9 日

長寿ロータリアン 満 90 歳

(2025 年 6 月末)

氏 名	生年月日
ツルガ ヨシヒロ 鶴賀 善宏 (つがるRC)	昭和 9 年 8 月27日

ガバナー特別表彰

クラブ名	推 薦 理 由
サトウ ケンイチ 佐藤 健一 (青森RC)	佐藤健一氏は、3年目の地区財団委員長として、地区のロータリー財団小委員会を統括して、財団セミナーの開催、地区補助金、グローバル補助金以下、各小委員会の活動全般にわたって、大いにリーダーシップを発揮されました。また、個人としても、年度内に3万ドルのロータリー財団の恒久基金への寄付をなされ、大いに貢献されました。2025年1月には、財団委員長として、ガバナー、パストガバナー以下タイ3330地区とのグローバル補助金事業として実施したナコーンシータマラート県の小中学校への浄水器贈呈式を引率し、同地区との信頼関係を確固なものとして下さいました。さらには、2025年6月のカナダ・カルガリー国際大会では、英語力を活かして各種プログラムに積極的に参加されて、地区内ロータリアンに国際大会参加の意義を発信して下さいました。これら多岐にわたる功績は、地区全体の模範であり、ガバナー特別表彰にふさわしいロータリアンとして、佐藤健一氏を推薦いたします。
タケシマ ナオキ 竹島 直樹 (十和田東RC)	竹島直樹氏は、クラブ会長の田中幹志氏が会員増強に尽力されていたものの、ご病気のため会長職を継続できなくなったことから、急速その重責を担い、副会長としてリーダーシップを遺憾なく発揮されました。 4月12日に行われた十和田東ロータリークラブ60周年記念式典および祝賀会は、姉妹クラブである台湾・羅東ロータリークラブからも多くの会員の参加を得て、成功裏に導きました。 姉妹クラブとの交流促進にも積極的に取り組み、地区事業である「アクトの翼」の受け入れ先として羅東市の高校を紹介し、またご自身も同行して地区内のインターアクターへ貴重な異文化体験の機会を提供されました。 さらに、会長不在という困難な状況下においても、クラブを的確にまとめ上げ、12%という顕著な会員増強を達成されました。 加えて、地区の「平和フェロウシップ・奨学金・学友委員長」として、グローバル補助金奨学生の派遣にも尽力され、地区の若手人材育成と国際的な交流の発展に大きく貢献されました。 これら多岐にわたる功績は、十和田東ロータリークラブのみならず、地区全体の模範であり、ガバナー特別表彰に相応しいロータリアンとして、竹島直樹氏を推薦いたします。

2024-25 年度 青少年交換学生一覧

2024-25年度 来日学生

氏 名	ホストRC	受入学校名	国／地区	スポンサーRC	期 間
Wei-Min Lee	六ヶ所	青森県立六ヶ所高等学校	台湾／3461地区	Taichung South Gate	2024.8 ～ 2025.6

2024-25 年度 ロータリー米山奨学生一覧

2024年9月終了学生

修学状況	奨学金区分	氏 名（カナ）	性別	国籍	大学名	世話クラブ	支給期間(To)
継続	YU	ウィ, シー メイ	女	マレーシア	青森中央学院大学	青森モーニング	2024/9/30
新規	YU	チャン フォン ジャン	女	ベトナム	青森中央学院大学	弘前アップル	2024/9/30

2025年3月終了学生

修学状況	奨学金区分	氏 名（カナ）	性別	国籍	大学名	世話クラブ	支給期間(To)
継続	YD	門 士虎（モン シトラ）	男	中国	弘前大学	弘前西	2025/3/31
継続	YU	程 佳萌（テイ カホウ）	女	中国	八戸学院大学	八戸	2025/3/31
継続	YU	孫 佳琰（ソン カエン）	女	中国	北里大学	十和田	2025/3/31
新規	YM	叶 文婷（ヨウ ブンティ）	女	中国	青森中央学院大学	弘前	2025/3/31
新規	YU	サイスツツ, パティター	女	タイ	青森中央学院大学	野辺地	2025/3/31

継続並びに新規学生

修学状況	奨学金区分	氏 名（カナ）	性別	国籍	大学名	世話クラブ	支給期間(To)
新規	YM	烏 仁図雅（ウ ニントア）	女	中国	弘前大学	弘前東	2025/9/30
新規	YU	張 芸馨（チョウ ゲイキョウ）	女	中国	青森大学	青森北東	2026/3/31
新規	YU	连 炜恩（サマー リャン ウェイ エン）	女	マレーシア	青森中央学院大学	青森	2026/3/31
新規	YD	マークボディー, ブンカニ	女	タイ	北里大学	十和田東	2026/3/31

2024-25 年度 ロータリー財団グローバル補助金奨学生

氏 名	スポンサーRC	留学先大学名	受入国／派遣地区	ホストRC	期 間
中村 美鈴	おいらせ	サセックス大学	英国/サセックス州	Brighton & Hove Soiree RC	2024.9.16～ 2025.9.30

地区インターアクトクラブ一覧

No.	名称(IAC名略)	スポンサークラブ	発会日	事務所住所(学校)	電 話
1	青森県立弘前南高等学校	弘 前 東	1966. 7.20	036-8247 弘前市大開4-1-1	0172-88-2231
2	青森県立三沢高等学校	三 沢	1966. 9.20	033-0037 三沢市松園町1-1	0176-53-2168
3	八戸学院光星高等学校	八 戸 東	1966.11.18	031-8507 八戸市湊高台6-14-5	0178-33-4151
4	青森県立百石高等学校	お い ら せ	1973. 4.21	039-2223 上北郡おいらせ町苗平谷地46	0178-52-2088
5	八戸聖ウルスラ学院高等学校	八 戸 北	1976. 5.11	039-1104 八戸市田面木字上野平53-2	0178-27-2245
6	青森山田高等学校	青森モーニング	1976. 6.30	030-8520 青森市青葉3-13-40	017-739-2001
7	青森県立三戸高等学校	三 戸	1977.12.13	039-0141 三戸郡三戸町川守田字白坂ノ上3-1	0179-22-2148
8	青森県立五所川原工業高等学校	五 所 川 原	1977.12.17	037-0035 五所川原市湊字船越192	0173-35-3444
9	青森県立八戸高等学校	八 戸 南	1981.11. 7	031-0021 八戸市長者4-4-1	0178-44-0916
10	八戸工業大学第二高等学校	八 戸	1984. 8.27	031-8505 八戸市大字妙字大開67	0178-25-4311
11	八戸学院野辺地西高等学校	野 辺 地	1986. 4.23	039-3156 上北郡野辺地町字枇杷野51-6	0175-64-4166
12	青森県立名久井農業高等学校	南 部	1986. 4.30	039-0502 三戸郡南部町下名久井字下諏訪平1	0178-76-2215
13	青森県立盲学校	青森中央	1986. 8.26	030-0936 青森市矢田前字浅井24-2	017-726-2239
14	青森県立三本木農業恵拓高等学校	十 和 田	1989. 3.10	034-8578 十和田市大字相坂字高清水78-92	0176-23-5341
15	弘前学院聖愛中学高等学校	弘 前	1995.10.11	036-8144 弘前市大字原ヶ平山元112-21	0172-87-1411
16	青森県立八戸東高等学校	八 戸 中 央	1997. 1.21	031-0001 八戸市類家1-4-47	0178-43-0262
17	青森県立木造高等学校	つ が る	1998.10. 4	038-3193 つがる市木造日向73-2	0173-42-2066
18	青森県立田名部高等学校	む つ 中 央	2003.10.24	035-0054 むつ市海老川町6-18	0175-22-1184
19	青森県立青森商業高等学校	青森北東	2006. 6.30	030-0951 青森市戸山字安原7-1	017-765-6030
20	青森県立むつ工業高等学校	む つ	2011.12.10	035-0082 むつ市文京町22-7	0175-24-2164
21	青森県立尾上総合高等学校	弘前アップル	2021.6.30	036-0211 平川市高木松元7-6	0172-54-3500
22	八戸工業大学第一高等学校	八 戸 西	2023. 5.22	031-0822 八戸市銀町右岩淵通7-10	0178-34-3942

地区ローターアクトクラブ一覧

RAC名 (スポンサークラブ)	住 所	発会日	例 会 日 開催時間	例会場
青 森 (青森 RC)	〒030-8505 青森市浜館大字間瀬58-1 青森県立保健大学内	1968. 8.21	適 時	県立保健大学内
弘 前 (弘前 RC)	〒036-8032 弘前市徳田町1-3 SKK情報ビジネス専門学校	1970. 7. 1	第3水曜日 19:30～	弘前勤労青少年ホーム
八 戸 (八戸 RC)	〒031-0031 八戸市番町14 八戸グランドホテル内	1976.12.14	第2・第4水曜日 19:30～	休止中
五所川原 (五所川原 RC)	〒037-0016 五所川原市一ツ谷504-1 五所川原市役所中央公民館内	1986. 5.18	第1・第3火曜日 19:30～	五所川原市役所 中央公民館
む つ (むつ RC)	〒035-0091 むつ市小川町2-11-2 田名部商業協同組合	2018. 4.11	第2・第4水曜日 19:00～	サン・カフェ
青森大学 (青森モーニング RC)	〒030-0943 青森市幸畑2-3-1 青森大学内	2020. 6.13	金曜日	WEB例会

クラブ認証順

	クラブ名	クラブNo.	創 立 日	認証日
1	青 森	13763	昭和28年 5月28日	1953年 6月15日
2	八 戸	13773	昭和30年 7月 6日	1955年 7月20日
3	弘 前	13779	昭和30年 9月23日	1955年10月 7日
4	五 所 川 原	13771	昭和34年 3月29日	1959年 5月16日
5	三 沢	13791	昭和35年 2月23日	1960年 4月21日
6	十 和 田	13815	昭和35年 3月26日	1960年 5月12日
7	弘 前 東	13780	昭和34年12月17日	1960年 5月20日
8	む つ	13793	昭和35年 4月 1日	1960年 5月20日
9	八 戸 東	13774	昭和36年 2月10日	1961年 5月 3日
10	十 和 田 東	13816	昭和40年 2月14日	1965年 4月 2日
11	三 戸	13810	昭和40年 6月26日	1965年 8月 7日
12	野 辺 地	13797	昭和40年11月 9日	1965年12月 1日
13	青 森 北 東	13765	昭和41年 3月30日	1966年 5月11日
14	七 戸	13811	昭和41年 6月12日	1966年 6月24日
15	金 木	13788	昭和41年 6月19日	1966年 6月30日
16	五 戸	13770	昭和41年 9月 5日	1966年12月27日
17	鰺 ケ 沢	13767	昭和41年11月23日	1966年12月27日
18	板 柳	13785	昭和42年 2月14日	1967年 3月20日
19	黒 石	13790	昭和43年 4月14日	1968年 4月28日
20	お い ら せ	13792	昭和43年 4月21日	1968年 4月29日

	クラブ名	クラブNo.	創 立 日	認証日
21	南 部	13794	昭和43年 9月15日	1968年10月 3日
22	八 戸 北	13775	昭和45年 6月28日	1970年 9月 1日
23	鶴 田	13818	昭和45年12月18日	1971年 1月12日
24	八 戸 南	13776	昭和50年 4月19日	1975年 6月17日
25	東 北	13814	昭和53年 4月 4日	1978年 5月13日
26	大 鰐	13808	昭和53年 6月19日	1978年10月12日
27	弘 前 西	13781	昭和53年 7月23日	1978年11月10日
28	五所川原中央	13772	昭和56年 2月12日	1981年 3月18日
29	三 沢 東	22466	昭和60年 2月23日	1985年 3月 5日
30	む つ 中 央	22720	昭和60年 3月27日	1985年 4月30日
31	青 森 中 央	22966	昭和60年 5月20日	1985年 6月13日
32	八 戸 中 央	23042	昭和60年 6月21日	1985年 6月25日
33	つ が る	26358	平成元年 4月 2日	1989年 4月26日
34	青森モーニング	26430	平成元年 4月23日	1989年 6月 1日
35	平賀・尾上	31321	平成 8年 2月12日	1996年 2月27日
36	六 ケ 所	31440	平成 8年 3月10日	1996年 4月 2日
37	十和田八甲	59725	平成14年 7月25日	2002年 9月25日
38	弘前アップル	84530	平成24年 6月 1日	2012年 6月 1日
39	八 戸 西	87885	平成28年 6月23日	2016年 7月20日
40	五所川原イヴニング	88604	平成29年 6月19日	2017年 6月19日

衛星クラブ むつ大畑ロータリー衛星クラブ 2021年 1月 5日付認可
弘前東桜華ロータリー衛星クラブ 2022年 7月12日付認可
八戸南さくらエイトロータリー衛星クラブ 2024年 6月24日付認可

クラブ交流状況

ク ラ ブ 名	国 名	提 唱 R C	地区	締結年月日	交流内容
野 辺 地	日 本	久 喜	2770	2006年 6月 3日	友好
む つ 中 央	アメリカ	ヒルスボ サンライズ	5100	1986年 5月30日	姉妹
三 沢	韓 国	東 大 邱	3700	1972年 5月23日	姉妹
十 和 田	台 湾	宜 蘭	3490	1967年 3月18日	姉妹
十 和 田 東	台 湾	羅 東	3490	1975年 5月 6日	姉妹
五 所 川 原	タ イ	バンコク・スリウォン	3350	2004年12月31日	友好
五所川原中央	日 本	新 千 葉	2790	1983年 1月20日	友好
	日 本	郡 山 北	2530	2006年 8月 8日	友好
弘 前	日 本	大 館 北	2540	1972年 9月29日	友好
弘 前 東	日 本	太 田 西	2840	2003年12月12日	友好
黒 石	日 本	十 和 田 ・ 秋 田	2540	1985年 7月 4日	友好
弘 前 西	日 本	函 館 五 稜 郭	2510	2013年10月25日	友好
弘前アップル	日 本	陸 前 高 田	2520	2018年 6月 5日	友好
青 森	日 本	京 都 南	2650	1999年 3月11日	姉妹
	日 本	函 館	2510	2014年10月25日	姉妹
青森モーニング	日 本	川 口 モ ー ニ ン グ	2770	2011年 4月23日	姉妹
	日 本	札 幌 モ ー ニ ン グ	2510	2011年 4月23日	姉妹
	日 本	旭 川 モ ー ニ ン グ	2500	2011年 4月23日	姉妹
	日 本	京 都 モ ー ニ ン グ	2650	2011年 4月23日	姉妹
八 戸	台 湾	基 隆	3490	1973年12月18日	姉妹
	日 本	能 代	2540	1982年 1月 9日	友好
	日 本	横 手	2540	2017年10月21日	友好
八 戸 北	日 本	松 戸 東	2790	1975年 5月20日	友好
八 戸 南	韓 国	南 浦 項	3630	1985年10月17日	姉妹

米谷恵司ガバナーエレクト 国際協議会出席壮行会

2025年1月19日(日) ホテル青森

プログラム

司会進行 五所川原RC 木村 重介

開 会

米谷恵司ガバナーエレクト入場

開会の言葉 壮行会実行委員長 中山 佳

パストガバナー他紹介(GND紹介含む)

ガバナー 花田 勝彦

ガバナー挨拶並びにガバナーエレクト紹介

ガバナー 花田 勝彦

地区助成金目録贈呈 ガバナー 花田 勝彦

ご挨拶 ガバナーエレクト 米谷 恵司

乾 杯 直前ガバナー 築館 智大

歓 談

ポールハリスソサエティ(PHS)、

ポリオプラスソサエティ(PPS)紹介と表彰

次年度ガバナー補佐紹介 ガバナーエレクト 米谷 恵司

次年度地区委員長及び地区事務所スタッフ紹介

次年度地区幹事長 最上 伸子

激励の言葉

次年度地区ラーニングファシリテーター／

パストガバナー 沼田 廣

ロータリーソング「手に手つないで」

閉 会



各グループ インターシティミーティング

西第1グループ

テーマ…「再生可能エネルギーによる地域活性化」

開催日時…2024.11.16

開催場所…ホテルサンルート五所川原

主催…西第1グループガバナー補佐

小田桐 浩

ホストクラブ…五所川原イヴニングRC

基調講演…「リチウム資源について」

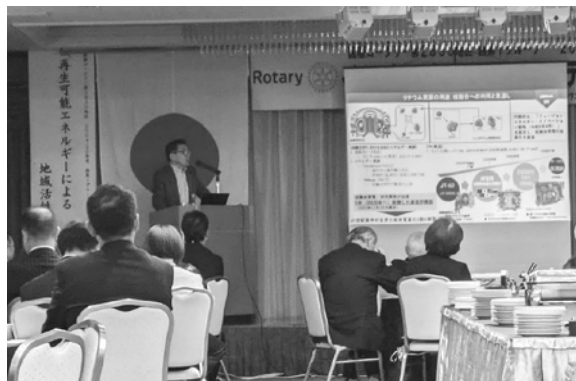
国立大学法人弘前大学大学院

理工学研究科 教授 佐々木一哉氏

パネルディスカッション…

「再生可能エネルギーによる地域活性化」

※開催報告は2024-25年度ガバナー月信1月号10頁



西第2グループ

開催日時…2024.12.1

開催場所…ラグリー

主催…西第2グループガバナー補佐

成田 学

ホストクラブ…弘前アップルRC

記念講演…「尾上総合高校における

多様な学びの提供について」

青森県立尾上総合高等学校校長

杉森 晋氏

※開催報告は2024-25年度ガバナー月信1月号11頁



南グループ

テーマ…「わたしたちの社会と税」

開催日時…2025.2.22

開催場所…ハ戸プラザホテルアーバンホール

主催…南グループガバナー補佐

島浦 理

ホストクラブ…ハ戸西RC

特別講演…「わたしたちの社会と税」

前国税庁長官 住澤 整氏

※開催報告は2024-25年度ガバナー月信4月号12頁



中グループ

テーマ…「青森開港400年

その近現代の歩みを振り返る」

開催日時…2025.3.29

開催場所…ホテル青森

主催…中グループガバナー補佐

蝦名 正治

ホストクラブ…青森北東RC

講演…「映像で蘇る青森市の明治・大正・昭和」

奏海の会会長 相馬 信吉氏

※開催報告は2024-25年度ガバナー月信5月号15頁



東第1・第2グループ

テ ー マ…「みんなで学ぼうDEI」

開催日時…2025.6.14

開催場所…サン・ロイヤルとわだ

主 催…東第1グループガバナー補佐

蛭沢 公洋

東第2グループガバナー補佐

佐々木紀仁

ホストクラブ…十和田東RC

トークセッション…地区DEI委員会

※開催報告は2024-25年度ガバナー月信最終号11頁



地区クラブ活性化ワークショップ

2025年4月26日(土) ホテルサンルート五所川原

セッション①「クラブ活性化のための会員増強の取り組み」

地区戦略計画委員会 委員長 今井 高志

- (1)地区内会員数の状況と会員増強に成功しているクラブの体験報告
- (2)クラブを活性化するために正会員を多様化することの提案
- (3)RI第2540地区の会員増強の取り組み報告

RI第2540地区 会員拡大増強委員長 今野 宏(大曲RC)

- (3)法人会員と6月30日退会問題の克服について

セッション②「クラブを元気にする 3-Year Rolling Goals」

- (1)「3-Year Rolling Goals」の内容と位置付け ガバナー 花田 勝彦

- (2)会長エレクトに「クラブセントラル」への入力を求めることの意味について

ガバナーエレクト 米谷 恵司

- (3)会長ノミニーの「3-Year Rolling Goals」への関わり方について

ガバナーノミニー 成田 俊介

セッション③「2025年規定審議会の報告」

規定審議会地区代表委員 沼田 廣





第28回 国際ロータリー 日本青少年交換研究会 青森会議

2025年6月7日(土)～8日(日) リンクステーションホール青森・ホテル青森

主催…RIJYEM Platform

ホスト地区…国際ロータリー第2830地区

《6月6日》

ガバナーNight …………… 日本料理 百代
プレコンRIJYEM …… ねぶたの國 たか久

《6月7日》

地区リーダー向け青少年プログラム&危機管理
セミナー …………… ホテル青森
本会議 …………… リンクステーションホール青森
来日学生日本語スピーチコンテスト
基調講演 千葉すず
トークセッション「私の海外体験談」
青森エクスカーショーン・青森ウオークツアー
大懇親会(JAPAN-Night、Rotex-Night)
…………… ホテル青森

《6月8日》

…………… リンクステーションホール青森
地区青少年交換・地区危機管理合同委員会
本会議
日本語スピーチコンテスト表彰式





国際ロータリー青少年交換 プログラム50周年に寄せて

RIJYEM 理事長

上山 昭治

2025年、国際ロータリー青少年交換プログラムは50周年を迎えます。この節目にあたり、プログラムの歴史を振り返り、未来に向けて新たな一歩を踏み出す機会としたいと思います。

それ以前に始まった日本でのプログラムには、平和への強い願いが込められています。オーストラリアのロータリアン、ドナルド・ファーカー氏は、かつて戦争の悲劇を経験し、失明という大きな犠牲を払いながらも、平和の重要性を訴え続けました。彼は1961年の国際ロータリー年次大会で「和解と親善のために、日本の若者をオーストラリアに招きたい」と提案し、それが日本での青少年交換の始まりとなりました。彼の熱意に感銘を受けた松本謙二郎氏(元RI理事)は、1962年日本から最初の交換学生9名を派遣することを決断し、この交流の基盤を築きました。

それ以来、青少年交換プログラムは、日本と世界をつなぐ架け橋となり、多くの若者が異文化への理解を深め、友情を育んできました。コロナ禍により交換が一時中断しましたが、現在では来日する学生の数もコロナ前の85%まで回復し、再び活発な交流が行われています。

今回第28回日本青少年交換研究会・青森会議が開催されるにあたり、300名を超える参加者が青少年交換50周年をお祝いします。これは単なる記念ではなく、青少年交換のさらなる発展を目指す重要な場です。プログラムの核となる理念は、互いの文化を理解し、尊重し合いながら、親善大使として行動すること。そして、その先にある目標は世界平和です。

現在、世界各地で紛争が続いています。しかし、私たちはこのプログラムに参加した若者たちが、平和の架け橋となることを心から願っています。青少年交換の経験を通じて、多様性への理解を深めた若者たちが、未来の国際社会のリーダーとして活躍することを期待しています。

50年の歴史を祝い、みなさまと共に新たな50年へと歩みを進めましょう。



開催挨拶

国際ロータリー第2830地区

2024-25 ガバナー 花田 勝彦

第28回日本青少年交換研究会・青森会議を国際ロータリー(RI)第2830地区、ここ青森市で開催するにあたり、日本全国、ひいては海外からも多くの青少年交換学生と学友のみなさん及びロータリアンの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございます。

今年度は、青少年交換プログラムがRIのプログラムとして認定されてから、ちょうど50年の節目を迎える記念すべき年度に当たります。このような節目の年に、第28回日本青少年交換研究会・青森会議を開催できることは、当地区にとっても大変光栄なことであり、実行委員会を中心に、これまで準備を重ねてまいりました。

昨年の山形大会ではじめて実施した、来日学生による日本語スピーチコンテストを今年度は地域での予選会を実施して、本大会では6名の決勝進出者のコンテストといたしました。基調講演では私たちの世代でも馴染みのある水泳のオリンピック千葉すず氏より「私の海外経験談」と題してご講演をいただくほか、パネルディスカッションでは交換学生たちとの意見交換が予定されております。大変興味深いお話が聞けるものと楽しみにしております。

懇親会では、20歳以上のロータリアンを中心としたJapan-Nightと、20歳未満の交換学生を中心としたRotex-Nightに分かれてお楽しみいただきますが、旧交を温め、あるいは新しい友情を育む機会として大いに交流していただきたいと思います。

そして、青少年が参加するプログラムですので、ロータリアンの皆様におかれましては、交換学生たちの安全確保にご協力をお願いし、参加者全員にとって、楽しい思い出に残る研究会にいただければ望外の幸です。

私のガバナー年度の地区スローガンは、「個性輝くロータリー」です。ご参加いただいた皆様の個性を輝かせ、同時に他人の個性を輝かせることができるような思いやりのある研究会にしたいと思います。

2日間、よろしくお願いいたします。楽しみましょう。

国際大会 カナダ・カルガリー

2025年6月21日(土)～25日(水)

《RI理事主催親善朝食会》

日 時…6月22日(日) 午前7:30～9:00

場 所…ハイアット・リージェンシーホテル
インペリアル・ボールルーム

《開会式》

日 時…6月22日(日) 午前9:30～11:30

場 所…スコシアバンク・サドルドーム

《D2600,D2830合同ガバナーアップルナイト》

参加者…D2600/12名、D2830/17名

日 時…6月22日(日) 18:30

場 所…レストランRouge



2024-25 年度 地区決算書

〔事業活動収入の部〕

項 目	内 訳	2024-25 花田 (A)	決算 (B)	増減 (B) - (A)	備 考
地区資金	一般会費収入 (@ 25,000 円)	28,000,000	27,265,000	-735,000	上期 1,098 名 下期 1,123 名 (配偶者・後継者・衛星会員含む)
	特別会費収入	3,024,000	2,974,600	-49,400	(上期会員数×300円+上期会員数×2,000円+下期会員数×100円)
RI ガバナー基本業務交付金		1,123,347	1,123,347	0	
雑収入	利息等	0	143,736	143,736	ポリオ T シャツ・青森会議立替金・利息
	合 計	32,147,347	31,506,683	-640,664	

〔事業活動支出の部〕

項 目	内 訳	2024-25 花田 (A)	決算 (B)	増減 (B) - (A)	備 考
1. 事業支出	計	23,443,100	20,797,379	-2,645,721	
①会議・研修費支出	計	7,200,000	6,783,642	-416,358	
	会長エレクト研修セミナー	400,000	430,330	30,330	規程上限 40 万 地区運営資金要綱(5)
	地区チーム研修セミナー	400,000	434,101	34,101	規程上限 40 万 以下省略(14)
	地区研修委員会	100,000	0	-100,000	規程上限 20 万 (15)
	地区研修・協議会	400,000	577,433	177,433	規程上限 40 万 (1)
	I M (グループ合同会議)	600,000	600,000	0	グループ各 10 万×6 地区 (3)
	地区大会	5,000,000	4,441,778	-558,222	
	〃 (運営資金要綱によるもの)	300,000	300,000	0	規程上限 30 万 (2)
②運営活動支出	計	1,000,000	899,003	-100,997	
	諮問委員会	250,000	365,208	115,208	
	ガバナー補佐会議	100,000	100,000	0	
	戦略計画会議	100,000	0	-100,000	
	地区危機管理委員会	50,000	49,521	-479	
	〃 実務活動費 (事故発生時)	100,000	0	-100,000	
	〃 RIJYEM	100,000	80,220	-19,780	保険加入
	RLI 委員会	300,000	304,054	4,054	
③委員会活動	計	5,600,000	4,332,958	-1,267,042	
	クラブ奉仕部門 (会員増強)	300,000	251,900	-48,100	
	クラブ奉仕部門 (公共イメージ)	1,100,000	653,275	-446,725	
	社会奉仕・職業奉仕部門	300,000	260,148	-39,852	
	国際奉仕部門	300,000	260,000	-40,000	
	ロータリー財団部門	700,000	683,680	-16,320	ポリオ対策費含む
	青少年奉仕部門 (青少年交換委員会)	800,000	711,400	-88,600	日本青少年交換研究会等への参加費補助を含む
	〃 (インターアクト委員会)	400,000	523,296	123,296	
	〃 (ロータリーアクト委員会)	450,000	173,430	-276,570	
	〃 (ライラ委員会)	600,000	597,955	-2,045	
	米山記念奨学会部門	350,000	2,750	-347,250	
	DEI 部門	300,000	215,124	-84,876	
④活動助成金支出	計	6,800,000	6,468,560	-331,440	
	ガバナー活動助成金	2,000,000	1,905,981	-94,019	規程上限 200 万 (12)
	ガバナー活動 (公式訪問費用)	800,000	778,265	-21,735	
	ガバナーエレクト活動助成金	400,000	400,000	0	規程上限 40 万 (7)
	ガバナーノミニ活動助成金	100,000	100,000	0	規程上限 10 万 (18)
	ガバナー補佐活動助成金	1,000,000	1,000,000	0	40 クラブ × 25,000 規程(6)
	青少年交換受入クラブ助成金	200,000	200,000	0	受け入れクラブ 20 万円 × 1 クラブ
	ガバナーエレクト国際協議会参加助成金	300,000	300,000	0	規程上限 30 万 (8)
	ガバナーエレクト研修セミナー参加助成金	200,000	200,000	0	規程上限 20 万 (16)
	国際大会地区代表出席者参加助成金	300,000	0	-300,000	規程上限 30 万 (11)
	RI 諸事業参加助成金	1,200,000	1,584,314	384,314	規程上限 200 万 (17)
	他地区交流助成金	300,000	0	-300,000	タイ水事業他
⑤地区拠出金支出	計	803,100	795,445	-7,655	
	ガバナー運営協力金	224,000	222,100	-1,900	(上期 1,098+ 下期 1,123)
	ロータリー文庫協力金	224,000	222,100	-1,900	(上期 1,098+ 下期 1,123)
	米山梅吉記念館協力金	114,000	113,000	-1,000	1,123 名×100 円
	RI 日本青少年交換委員会協力金	224,000	226,000	2,000	(上期 1,098+ 下期 1,123) 名×100 円
	平和奨学生支援金	17,100	16,950	-255	1,123 名×15 円
⑥その他事業費	計	2,040,000	1,517,771	-522,229	
	表彰状・記念品代	400,000	276,342	-123,658	
	ガバナーエレクト杜行会	400,000	228,020	-171,980	規程上限 40 万 (4)
	直前ガバナー引退記念品代	100,000	125,060	25,060	規程上限 10 万 (9)
	ガバナー月信	20,000	0	-20,000	
	送料・写真代・ファイル代支出	20,000	151,120	131,120	
	新設クラブ助成金	100,000	0	-100,000	規程上限 10 万 (10)
	地区規程による旅費交通費支出	1,000,000	737,229	-262,771	
2. 管理費支出	計	8,350,000	9,552,490	1,202,490	
	地区事務所管理費	8,050,000	9,442,144	1,392,144	
	〃 (ガバナーエレクト分)	300,000	110,346	-189,654	
3. 特別資産取得支出	規定審議会代議員旅費助成積立金	100,000	300,000	200,000	田中・築館年度 20 万含む
4. 予備費支出	予備費	254,247	311,689	57,442	地区クラブ活性化ワークショップ
	合 計	32,147,347	32,326,830	179,483	

内 訳	2024-25 花田 (A)	決算 (B)	増減 (B) - (A)	備 考
一般会計収入額	32,147,347	31,506,683	-640,664	
一般会計支出額	32,147,347	30,961,558	-1,185,789	
差引残高	0	545,125	545,125	
前年度繰越額	25,176,799	29,923,402	4,746,603	田中・築館年度規定審議会積立金 20 万含む
次期繰越額	25,176,799	30,468,527	5,291,728	

2024-25 年度 特別会計（国際平和資金）決算書

項 目	内 訳	2024-25 花田 (A)	決算 (B)	増減 (B) - (A)	備 考
収 入	献金収入	1,710,000	720,127	-989,873	1,500 円× 1,140 名
	令和 6 年 9 月能登半島豪雨災害支援金		870,628	870,628	地区内クラブより
	令和 7 年大船渡大規模山林火災被害支援金		854,474	854,474	地区内クラブより
	ミャンマー地震 災害救援基金		559,740	559,740	地区内クラブより
				0	
	雑収入		4,633	4,633	
	収入計	1,710,000	3,009,602	1,299,602	

項 目	内 訳	2024-25 花田 (A)	決算 (B)	増減 (B) - (A)	備 考
支 出	国際奉仕部門（新規事業調査他）	300,000		300,000	
	青少年奉仕部門（アクト交流会）	1,100,000	1,102,500	2,500	
	令和 6 年 9 月能登半島豪雨災害支援金		1,000,000	1,000,000	
	令和 7 年大船渡大規模山林火災被害支援金		1,000,000	1,000,000	
	ミャンマー地震 災害救援基金		1,000,000	1,000,000	
				0	
	予備費（災害支援他）	310,000		-310,000	
	支出計	1,710,000	4,102,500	2,392,500	

内 訳	2024-25 花田 (A)	決算 (B)	増減 (B) - (A)	備 考
差引残高	0	-1,092,898	-1,092,898	
前年度繰越額	9,524,493	10,204,472	679,979	
次期繰越額	9,524,493	9,111,574	-412,919	

2024-25 年度 米山記念奨学会決算書

項 目	内 訳	2024-25 花田 (A)	決算 (B)	増減 (B) - (A)	備 考
収 入	米山記念奨学会交付金	580,000	1,540,000	960,000	米山記念奨学会より
	米山奨学生選考試験補助費	140,500	140,500	0	米山記念奨学会より
	委員会活動費	350,000	2,750	-347,250	地区一般会計より
	ロータリアン会費	100,000	116,500	16,500	登録料収入
	普通預金利息		603	603	
	収入計	1,170,500	1,800,353	629,853	

項 目	内 訳	2024-25 花田 (A)	決算 (B)	増減 (B) - (A)	備 考
支 出	奨 学 生 生 活 費	500,000	174,439	-325,561	
	修了証書授与式	200,000	200,165	165	
	オリエンテーション・歓迎会	200,000	143,170	-56,830	
	米山奨学生選考試験費	140,500	104,420	-36,080	
	予備費	130,000	25,884	-104,116	
	支出計	1,170,500	763,758	-406,742	

2024-25 年度 委員会活動決算書

項 目	内 訳	2024-25 花田 (A)	決算 (B)	増減 (B) - (A)	備 考
クラブ奉仕部門	会員増強委員会	300,000	251,900	-48,100	
	公共イメージ向上委員会	1,110,000	653,275	-446,725	
社会奉仕・職業奉仕部門	社会奉仕・職業奉仕委員会	300,000	260,148	-39,852	
国際奉仕部門	国際奉仕委員会	300,000	260,000	-40,000	
ロータリー財団部門	ロータリー財団委員会	450,000	414,472	-35,528	
	地区補助金委員会			0	
	グローバル補助金委員会			0	
	資金推進委員会			0	
	奨学金・学友委員会			0	
	ポリオプラス委員会	250,000	269,208	19,208	ポリオ対策費
青少年奉仕部門	青少年交換委員会（ローテックス関連含む）	800,000	711,400	-88,600	日本青少年交換研究会等への参加費補助を含む
	インターアクト委員会	400,000	523,296	123,296	
	ローターアクト委員会	450,000	173,430	-276,570	
	R Y L A	600,000	597,955	-2,045	
R 米山記念奨学部門	R 米山記念奨学委員会	350,000	2,750	-347,250	
DEI 部門	DEI 委員会	300,000	215,124	-84,876	
	収 入 計	5,600,000	4,332,958	-1,267,042	

2025 年 8 月 23 日

監 査 報 告 書

国際ロータリー第 2830 地区

2024-25 年度 ガバナー 花田 勝彦 殿

地区監査委員会・地区財団監査委員会

委員長

高木 邦男



委 員

桃野 敬



委 員

北山 輝天



私は、国際ロータリー第 2830 地区の 2024-25 年度の下記計算書類について監査を行った。

記

1. 一般会計収支計算書
2. 特別会計収支計算書
 - (1) 国際平和資金 特別会計
 - 令和 6 年 9 月能登半島豪雨災害支援金
 - 令和 7 年大船渡大規模山林火災被害支援金
 - ミャンマー地震 災害救援基金
 - (2) 米山記念奨学会 特別会計
3. 貸借対照表
4. 財産目録

上記計算書類の監査にあたり、帳簿並びに関係書類を閲覧し、証憑書類との照合など必要と思われる監査手続きを実施した。

監査の結果、私は、収支計算書、貸借対照表並びに財産目録は国際ロータリー第 2830 地区の 2024-25 年度の収支及び財産の状況を正しく示しているものと認める。

以上

2024-25 年度 地区内クラブ一覧表

分 区	クラブ名	会長名	幹事名	〒 クラブ住所	T E L / F A X		〒 例会場所	T E L F A X		例会曜日	例会時間
					E-mail						
東 第 1 グループ	む つ	小田 桐隆夫 オダ キリタカオ	竹内 崇高 タケウチ ソウスケ	037-0063 むつ市若松町 15-45 田名部商業協同組合内	0175-22-2663 / 0175-22-2663 tanashou@jeans.ocn.ne.jp		035-0021 むつ市田名部下道 4 (上期) むつグランドホテル 035-0061 むつ市下北町 2-46 (下期) プラザホテルむつ	0175-22-2331 0175-22-2332 0175-23-7111 0175-23-7770	火曜日 (第2火曜休会)	12:30	
	野 辺 地	松山 隆志 マツヤマ タカシ	横濱 敬子 ヨコハマ ケイコ	039-3172 上北郡野辺地町宇鳥井平 34-92 (株)マルイチ横浜内	090-2364-7622 / 0175-64-9246 y.yokohama@maruichiyokohama.co.jp		039-3131 上北郡野辺地町宇野辺地 17-1 ウロコムル野坂屋 蔵 (KURA)	0175-64-2512 0175-64-5255	火曜日	12:30	
	七 戸	大黒 博 オホクロ ヒロシ	松林 和子 マツバヤシ カズコ	039-2804 上北郡七戸町宇野崎狐久保 106-226 石田産業㈱内	080-6028-7543 / 0176-62-9571 rotary.shichinohe@gmail.com		039-2525 上北郡七戸町宇七戸 123-20 七戸商店会協同組合 2階	0176-62-2075 0176-62-5101	木曜日	12:30	
	東 北	蛭沢 達彦 エビスガワ タツトコ	工藤 智 クドウ サトル	039-2664 上北郡東北町宇乙供 58 (株)青森原燃テクノロジーズセンター内	0175-63-4680 / 0175-63-4681 tohoku.rc2830@gmail.com		039-2664 上北郡東北町宇乙供 58 株)青森原燃テクノロジーズセンター内	0175-63-4680 0175-63-4681	月曜日	12:30	
	む つ 中 央	柴田 文彦 シバ タ	中村 昭芳 ナカムラ アキヨシ	035-0063 むつ市若松町 15-45 田名部商業協同組合内	0175-22-2663 / 0175-22-2663 tanashou@jeans.ocn.ne.jp		035-0035 むつ市本町 2-7 はねやホテル	0175-22-8445 0175-22-4155	水曜日 (第1・3・4) 12:30		
	六 ケ 所	種市 治雄 タネイチ ハルオ	小田 優吾 オダ ユウゴ	039-3213 上北郡六ヶ所村大字鷹架字内子内 337 スノハワスろっかぽっか内	0175-69-1126 / 0175-69-1131 rokkasho_rc@yahoo.co.jp		039-3213 上北郡六ヶ所村大字鷹架字内子内 337 スノハワスろっかぽっか内	0175-69-1126 0175-69-1131	木曜日	12:00	
東 第 2 グループ	三 沢	阿部 勝 アベ マサル	澤上 克彦 カツノエ カツコ	033-0011 三沢市幸町 1丁目 11-20	0176-57-1222 / 0176-57-5733 misawarc2830@cococ.ocn.ne.jp		033-0123 三沢市堀口 17-128 きざん三沢	0176-54-3111 0176-54-3114	火曜日	12:30	
	十 和 田	漆畑 善文 ウシノハタ ヨシフミ	上久保聖一 カミキミ ケイセイイチ	034-0034 十和田市東十五番町 11-3-2 (有)アート印刷内	0176-22-8610 / 0176-22-4822 artprint@movie.con.ne.jp		034-0031 十和田市東三番町 37-7 サン・ロイヤルとわだ	0176-23-2266 0176-23-2627	火曜日	12:30	
	十 和 東	田中 幹志 タナカ ミキシ	照井 伸良 テルイ ノブヨシ	034-0087 十和田市西十五番町 1-4	0176-23-4028 / 0176-51-3212 kakimoto@omon.ne.jp		034-0031 十和田市東三番町 37-7 サン・ロイヤルとわだ	0176-23-2266 0176-23-2627	木曜日	12:30	
	おいらせ	円子 徳通 マルコ トクミチ	杉山 茂夫 シゲヤマ シゲオ	039-2135 上北郡おいらせ町立蛇 76-1 南部商工㈱内	0178-56-2326 / 0178-56-2536 nambushokou@tea.ocn.ne.jp		039-2151 上北郡おいらせ町向山 5丁目 3331 レストラン カワヨグリーンロッヂ	0178-56-3981 0178-56-3982	水曜日	12:30	
	三 沢 東	田中 正吉 タナカ シノブ	篠田 文隆 フミカガ	033-0011 三沢市幸町 1丁目 11-20	0176-57-1222 / 0176-57-5733 misawarc2830@cococ.ocn.ne.jp		033-0123 三沢市堀口 17-128 きざん三沢	0176-54-3111 0176-54-3114	木曜日	12:30	
	十 和 田 甲 八	羽賀 義広 ハガ ヨシヒロ	中嶋 崇 ナカシマ タカシ	034-0082 十和田市西二番町 4-11 十和田商工会議所内	0176-24-1111 / 0176-24-1563 watarit@towada.or.jp		034-0031 十和田市東三番町 37-7 サン・ロイヤルとわだ 034-0031 十和田市東三番町 13-16 十和田シティホテル	0176-23-2266 0176-23-2627 0176-23-2076 0176-24-2050	水曜日 (第1) 12:00 (第2・4) 18:00		
西 第 1 グループ	五 所 川 原	寺田 明代 テラダ アキヨ	木村 康仁 キムラ ヤスヒト	037-0044 五所川原市元町 46-1 (株)経営情報センター内	0173-35-4545 / 0173-34-6271 vas1967@nifty.com		037-0053 五所川原市宇布屋町 25番地 ホテルサンルート五所川原	0173-34-8811 0173-34-8816	水曜日	12:30	
	金 木	野呂 賢一 ノロ ケンイチ	伊藤真奈美 イトウ マナミ	037-0202 五所川原市金木町玉水 180-7 (有)荒閑商店内	090-3367-1126 / 0173-52-5339 mataichi@honey.ocn.ne.jp		037-0202 五所川原市金木町朝日山 468-1 奴寿司内	0173-52-2039 0173-53-3505	火曜日	18:30	
	鰐 ヶ 沢	石岡 幸弘 イシノガタ ユキヒロ	加藤 隆之 カトウ タカユキ	038-2701 西津軽郡鰐ヶ沢町北浮田町字今須 87-1 社会福祉法人つくし会内	0173-72-7111 / 0173-72-7058 morio3678@gmail.com		038-2761 西津軽郡鰐ヶ沢町舞戸町字下雷田 26-1 水車の宿	0173-72-6511	木曜日	18:00	
	鶴 田	坂本 幸光 サカモト ユキミツ	小関 優 コセキ ユウ	037-0036 五所川原市中央 6-3	0173-38-3393 / 0173-34-6776 sakamoto-j@tulip.ocn.ne.jp		038-3503 北津軽郡鶴田町大字鶴田字生松 108-1 生松製材所内		月曜日 (第1・2・4) 12:00		
	五 所 川 原 中	一井 定信 イチイ サダノブ	宮崎 敬也 ミヤザキ ケイヤ	037-0035 五所川原市湊字千鳥 147 (有)幸和 内	0173-35-1643 / 0173-34-2621 kouwa200403@gmail.com		037-0053 五所川原市宇布屋町 25番地 ホテルサンルート五所川原	0173-34-8811 0173-34-8816	木曜日	18:30	
	つ が る	今 淳一 イマ ジュンイチ	嶋野 琢也 タケノ タクヤ	038-3145 つがる市木造千代町 34-1	0173-42-5511 / 0173-42-3272 tugaru_rotary@yahoo.co.jp		038-3137 つがる市木造若宮 16-4 つがる市商工会館 2階	0173-42-2449 0173-42-5979	火曜日	12:30	
五 所 川 原 イヴニング	成 田 和代 ナリタ カズミ	安田美香子 ヤスダ ミカコ	安田美香子 ヤスダ ミカコ	037-0023 五所川原市広田柳沼 82-1 (有)安田自動車販売内	0173-35-3358 / 0173-35-3003 vasumin1636@yahoo.co.jp		037-0053 五所川原市宇布屋町 25番地 ホテルサンルート五所川原	0173-34-8811 0173-34-8816	水曜日 (隔週)	18:00	

分 区	クラブ名	会長名	幹事名	〒 クラブ住所	TEL / FAX		〒 例会場所	TEL		例会曜日	例会時間
					E-mail			FAX			
西 第 2 グループ	弘 前	河端 一秀	シメゴミ 三上 信吾	036-8032 弘前市徳田町 29-3 S.K.K. リカレントスクール 3 階	0172-33-7678 / 0172-33-5250 hirosakigodorc@onyx.ocn.ne.jp	036-8045 弘前市野田 1 丁目 4-1 RAGLEY (ラグリー)	0172-36-2277		月曜日	12:30 (月 1 回) 18:30	
	弘 前 東	工藤 孝子	カスヒロ アサクラ 朝倉 和広	036-8032 弘前市徳田町 29-3 S.K.K. リカレントスクール 3 階	0172-33-7678 / 0172-33-5250 hirosakigodorc@onyx.ocn.ne.jp	036-8004 弘前市大町 1-1-2 アートホテル弘前シティ	0172-37-0700		水曜日	12:30 (2 回) 18:00	
	板 柳	賀藤直飛人	タダチ ミカミ 三上 忠男	038-3661 北津軽郡板柳町大字福野田字実田 45-17 三和設備内	0172-73-2320 / 0172-73-3922 sanwa.cat@kyp.biglobe.ne.jp	038-3661 北津軽郡板柳町大字福野田字実田 30-7 板柳商工会館 2 階	0172-73-3254 0172-73-3652		火曜日	12:30	
	黒 石	渡辺 恵子	ヒロキ ミナモト 博基	036-0307 黒石市市ノ町 5-2 黒石商工会議所内	0172-52-4316 / 0172-52-9997 masato@k-cci.or.jp	036-0304 黒石市甲徳兵衛町 36 赤堤灯 2 階	0172-52-7336 0172-53-5594		木曜日	(第 1・4) 12:00 (第 2) 18:30	
	大 鰐	佐藤 淳	サトル ヤマモト 智	038-0212 南津軽郡大鰐町大字蔵館字湯ノ沢 4-3 南大鰐振興内	0172-47-9040 / 0172-48-2890 owani-rc@katayamagumi.jp	038-0211 南津軽郡大鰐町大字大鰐字大鰐 59-3 山忠会館	0172-48-5038 0172-47-5144		火曜日	12:30	
イ ー プ	弘 前 西	樋川 新一	ヤスマサ カサカリ 保昌	036-8036 弘前市鉄砲町 1-1 ※今のところクラブ事務局未定	0172-32-7731 / 0172-32-7732 hirosakiwest@gmail.com	036-8016 弘前市坂本町 1 創作郷土料理の店 菊富士本店	0172-36-3300 0172-36-3319		火曜日	(1 回) 12:30 (2 回) 18:30	
	平賀・尾上	齋藤 憲法	コン シュンイチ 俊一	036-0111 平川市小和森上平田 1-5 株メンテック・ヒロ内	0172-44-1456 / 0172-44-1457 arayaho-3170@ec.tedhnowave.ne.jp	036-0114 平川市町居南田 166-3 南田温泉ホテルアルパルランド	0172-44-3711 0172-44-3771		火曜日	(第 2・4) 18:30	
	弘 前 アッフル	八木高寛	アキヒロ シメゴ 明広	036-8086 弘前市田園 1-12-1 アイエーネットワーク株内	0172-27-1333 / 0172-27-1245 sibu@hokko-lpgas.jp	036-8086 弘前市田園 1-12-1 アイエーネットワーク株内	0172-27-1333 0172-27-1245		月曜日	19:00	
	青 森	小林 俊一	タイタ オホナカ 大輔	030-0812 青森市堤町 1-1-23 ホテル青森 2 階	017-775-1821 / 017-777-9691 aomori-rc@jomon.ne.jp	030-0812 青森市堤町 1-1-23 ホテル青森	017-775-4141 017-773-5201		木曜日	12:30	
	青森北東	本間 義悦	ヨウエツ コウエツ 幸悦	030-0812 青森市堤町 1-1-23 ホテル青森 2 階	017-775-1821 / 017-777-9691 ensc@trust.ocn.ne.jp	030-0812 青森市堤町 1-1-23 ホテル青森	017-775-4141 017-773-5201		水曜日	12:30	
中 グループ	青森中央	原 三郎	ミウラ カサエ 三浦 和江	030-0812 青森市堤町 1-1-23 ホテル青森 2 階	017-775-1821 / 017-777-9691 ensc@trust.ocn.ne.jp	030-0812 青森市堤町 1-1-23 ホテル青森	017-775-4141 017-773-5201		月曜日	12:30	
	青 森 モーニング	橋本 正弘	テツヒロ サカイ 哲博	030-0812 青森市堤町 1-1-23 ホテル青森 2 階	017-775-1821 / 017-777-9691 webmaster@aomori-mrc.org	030-0812 青森市堤町 1-1-23 ホテル青森	017-775-4141 017-773-5201		火曜日	8:00	
	八 戸	橋本(右衛門)	コ ダ ミヤノリマサ 小田山紀暢	031-0031 八戸市番町 14 八戸グランホテル内	0178-43-0608 / 0178-43-0661 rc8@vc.hi-net.ne.jp	031-0031 八戸市番町 14 八戸グランホテル	0178-46-1234 0178-46-1245		水曜日	12:30	
	八 戸 東	佐藤 晃	イチロウ キネ 一郎	031-0003 八戸市吹上 1 丁目 15-90 八戸パークホテル内	080-2835-7040 / 0178-36-9002 rc8east@outlook.com	031-0003 八戸市吹上 1 丁目 15-90 八戸パークホテル	0178-43-1111 0178-43-0264		金曜日	12:30	
	三 戸	坂本 勝克	サムラエイイチロウ タケモト 矢村英一郎	039-0144 三戸郡三戸町大字六日町 16-1	0179-22-0171 / 0179-22-0163 corp-mail@sakapri.co.jp	039-0131 三戸郡三戸町大字二日町 102-1 田沼本店 2 階	0179-23-3231 0179-22-3231		水曜日	12:30	
南 グループ	五 戸	中里 政廣	トヨタ タカオ 豊田 孝夫	039-1516 三戸郡五戸町市川道十文字 3-2 めぐみ保育園内	0178-62-3224 / 0178-62-7604 a0291010@hi-net.ne.jp	039-1548 三戸郡五戸町字新町 34-3 アピル五戸	0178-62-2011		水曜日	12:30	
	南 部	夏堀 剛充	エイチ シマヅチ 島口 英知	039-0802 三戸郡南部町大字苫米地字下宿 23-1 ジャックトオフィス 2 階 南部町商工会内	0178-38-1159 / 0178-38-1163 n-nagawa@aomorisokoren.or.jp	039-0802 三戸郡南部町大字苫米地字下宿 23-1 ジャックトオフィス 202 号室 南部町商工会内	0178-38-1159 0178-38-1163		火曜日	12:30	
	八 戸 北	千葉 哲也	ミツアキ オオサキ 光明	031-0081 八戸市番町柏崎 1 丁目 6-6 八戸ブラザホテル内	0178-44-3121 / 0178-44-3128 s2830n@ae.auone-net.jp	031-0081 八戸市柏崎 1 丁目 6-6 八戸ブラザホテル	0178-44-3121 0178-44-3128		火曜日	12:30	
	八 戸 南	慶徳 拓也	ユウゴ チガイ 友吾	031-0003 八戸市吹上 1 丁目 15-90 八戸パークホテル内	0178-43-1111 / 0178-43-0264 hsclub-2830@cd.hi-net.ne.jp	031-0003 八戸市吹上 1 丁目 15-90 八戸パークホテル	0178-43-1111 0178-43-0264		木曜日	12:30	
	八 戸 中央	山村 益広	サトル ヘビグチ 佐藤 泰治	031-0081 八戸市番町柏崎 1 丁目 6-6 八戸ブラザホテル内	0178-44-3121 / 0178-44-3128 s2830c@gmail.com	031-0081 八戸市柏崎 1 丁目 6-6 八戸ブラザホテル	0178-44-3121 0178-44-3128		月曜日	(第 1・3・4) 12:30 (第 2) 18:30	
南 グループ	八 戸 西	大馬 泰雅	カズノリ ヘビグチ 和憲	031-0072 八戸市城下 4 丁目 9-5 株式会社 STARS 内 八戸西ロータリークラブ事務局	0178-51-8642 / 0178-51-8643 hwrc@stars.aomori.jp	031-0081 八戸市柏崎 1 丁目 6-6 八戸ブラザホテル	0178-44-3121 0178-44-3128		木曜日	(第 1・3) 12:30 (第 2) 18:30	

2024-25 年度 地区事務所組織表

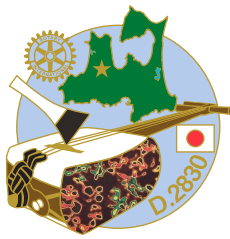
役 職	氏 名	所属クラブ
地 区 ガ バ ナ ー	花 田 勝 彦	五所川原
地区ラーニングファシリテーター、パストガバナー	山 崎 淳 一	五所川原
地 区 財 務 長	地区大会・クラブ幹事	木 村 康 仁
		五所川原

地区事務所スタッフ

幹 事 長	総務、企画、諮問委員会担当	木 村 重 介	五所川原
副 幹 事 長	地区研修・協議会実行委員長、月信担当	今 広 樹	五所川原
副 幹 事 長	DTTS・PETS 実行委員長	平 山 敦 士	五所川原
副 幹 事 長	地区大会実行委員長	敦 賀 鉄 正	五所川原
会 計 長		寺 田 和 仁	五所川原
幹 事	DTTS・PETS 副実行委員長	浅 利 壽 信	五所川原
	地区研修・協議会副実行委員長	野 上 友 明	五所川原
	地区大会副実行委員長	阿 部 哲 也	五所川原
	公式訪問・各種事業担当	今 直 樹	五所川原
	公式訪問・各種事業担当	小笠原 崇 文	五所川原
	世界大会推進、 公共イメージ・各種事業担当（壮行会）	中 山 佳	五所川原
	RIJYEM・各種事業担当	太 田 康 成	五所川原
	RIJYEM・各種事業担当	佐 藤 昭 義	五所川原
	地区大会・クラブ会長	寺 田 明 代	五所川原
	各種事業担当（地区大会）	成 田 学 治	五所川原
	各種事業担当（地区大会）	清 野 悟	つ がる
	各種事業担当（地区大会）	宮 崎 敬 也	五所川原中央
専 属 事 務 局 員		浅 利 育 子	

地 区 事 務 所 所 在 地	〒 030-0812 青森市堤町 1-1-23 ホテル青森内 TEL：017-732-2830 FAX：017-732-2831 E-mail:rid2830@outlook.jp [執務時間] 平日 午前 9:00 ～午後 5:00
-----------------	---

ホ ス ト	五所川原ロータリークラブ
コ ・ ホ ス ト	金木ロータリークラブ 鯉ヶ沢ロータリークラブ 鶴田ロータリークラブ 五所川原中央ロータリークラブ つがるロータリークラブ 五所川原イヴニングロータリークラブ



Rotary
District 2830

